

五泉市歯科保健計画第3次



新潟県五泉市
令和6年3月

目 次

1 計画の基本的な考え方

計画策定の趣旨	1
計画の位置づけ	1
計画の期間	2
計画の推進	3
基本目標	5

2 歯科保健の現状と今後のとりくみ

胎生期	6
乳幼児期	8
学齢期	11
青壮年期	15
高齢期	20
障がい者・要介護者	24

資料編

胎生期～学齢期	28
青壮年期	32
高齢期	42
障がい者・要介護者	50
五泉市歯科保健推進会議設置要綱	51
五泉市歯科保健推進会議委員名簿	53
五泉市歯科保健計画策定経過	54

1 計画の基本的な考え方

計画策定の趣旨

歯と口の健康は、全身の健康に影響するとともに、食事や会話を楽しむといった生活の質を高めるために大切な役割を担っています。全身の健康づくりのためには、子どものころから歯や口の健康を保つ取組が重要です。

国は健康日本21（第三次）の中で、「歯・口腔の健康については、これが社会生活の質の向上に寄与すること等の観点から、歯科疾患の予防や口腔機能の獲得・維持・向上等の歯・口腔の健康づくりが重要である」と記載しています。県でも国に先がけて歯科保健推進条例が制定され、歯科保健対策を推進しており、特に12歳児のむし歯数が全国最少となる等大きな成果をあげています。

こうした中、五泉市では、平成20年4月に五泉市歯科保健計画第1次前期を策定し、平成31年3月策定の計画第2次後期では、基本目標を「いつまでもよい歯でおいしく楽しく食べられる」として、関係機関等との連携を重点に置き、ライフステージの中でとぎれない一貫した歯や口の健康づくりを推進してきました。しかしながら、定期的な歯石除去や歯科受診をしている人が増えていないこと等の課題が残っています。

今回の計画では、これらの課題を踏まえて、生涯にわたり歯や口の健康を維持し、口から全身の健康づくりを推進していきます。

計画の位置づけ

この計画は歯科口腔保健の推進に関する法律に基づく計画であり、国の「健康日本21」及び県の「新潟県歯科保健医療計画（第5次）～ヘルシースマイル21～」の基本的視点を踏まえた計画です。又、この計画は「第2次五泉市総合計画」に基づき、健康増進計画、障がい福祉計画、障がい者計画、障がい児福祉計画、食育推進計画、母子保健計画、高齢者福祉計画、介護保険事業計画などとも整合性を図りつつ、生涯を通じたさらなる歯科保健の向上を目指して策定しているものです。

五泉市では、健康づくりに関する各種計画について担当課において以下のように策定しています。

出生	乳幼児期	学童期	青年期	壮年期	高齢者
歯科保健計画（2024 年度～2028 年度）					
健康増進計画（2024 年度～2028 年度）					
自殺対策計画（2019 年度～2024 年度）					
母子保健計画 （2020 年度～2024 年度）		国民健康保険データヘルス計画 （2024 年度～2029 年度） 特定健康診査等実施計画 （2024 年度～2029 年度）		高齢者福祉計画 介護保険事業計画 （2024 年度～2026 年度）	
子ども・子育て支援事業計画 （2020 年度～2024 年度）					
食育推進計画（2022 年度～2026 年度）					
障がい者計画（2021 年度～2026 年度） / 障がい福祉計画（2024 年度～2026 年度） / 障がい児福祉計画（2024 年度～2026 年度）					

計画の期間

計画期間は、2024 年（令和 6 年）4 月から 2029 年 3 月までの 5 カ年計画とします。

参考：これまでの五泉市歯科保健計画

2008 年（平成 20 年）4 月～2011 年（平成 23 年）3 月	五泉市歯科保健計画	第 1 次前期
2011 年（平成 23 年）4 月～2014 年（平成 26 年）3 月	五泉市歯科保健計画	第 1 次後期
2014 年（平成 26 年）4 月～2019 年（平成 31 年）3 月	五泉市歯科保健計画	第 2 次前期
2019 年（平成 31 年）4 月～2024 年（令和 6 年）3 月	五泉市歯科保健計画	第 2 次後期

計画の推進

五泉市歯科保健推進計画を推進し、目標を達成するためには、歯と口の健康づくりの主体である市民一人ひとりがこの計画を理解し、共感し、自ら実行することが不可欠です。市民の参加なしには、この目標を達成することはできません。この計画を多くの市民にお知らせし、歯科保健の推進を呼びかけます。

また、目標を達成するために、この計画に関わる様々な関係者から次のような役割を担っていただくとともに、お互いに連携を図り、計画を推進していくことを期待しています。

計画推進のためのそれぞれの役割

① 市民の役割

まず、市民が計画にある歯と口の健康について関心と理解を示し、自分の生活を振り返り、その上で実行可能な目標を持って日々の暮らしの中で取り組むことが大切です。

② 保健・医療関係者の役割

歯科医師、歯科衛生士は、むし歯や歯周病の治療に加え、口の中の病気を未然に防ぐ予防活動にも現在、大きな役割を担っています。今後、さらに予防活動に関して大きな役割が期待されます。

③ 保育園等・福祉関係者の役割

保育園等の場合、乳幼児の歯科保健において、基本的な生活習慣を身につける時期にあたり、その教育的役割が求められます。

また、障がい・高齢福祉関係者においては、障がい者や要介護者等に歯科保健のサービスが行き届くよう、自己研鑽と対象者への専門的立場からの支援が求められます。

④ 教育機関の役割

学校をはじめとする教育機関は、児童・生徒が歯と口の健康づくりについて自ら考え、実践するための知識と技術を身につけることができるよう教育的役割を担います。

⑤ 地域の役割

母子保健推進員の会、食生活改善推進委員協議会、公衆衛生協会、健康推進委員会など地域の健康づくりのリーダーは、行政と協働し、地域住民に歯と口の健康づくりの話題を積極的に広めていく役割が期待されます。

また、老人クラブやお茶の間サロンでは、市民に身近な健康づくり・支え合いの場として、歯と口の健康づくりを勧めていくことが期待されます。

⑥ 行政の役割

まず、五泉市民の歯と口の健康に関する実態を常に把握するよう努め、歯と口の健康づくり事業の拡大や充実をはかります。

次に歯と口の健康づくりについての情報を積極的に市民に伝えます。その中では、現在の五泉市の歯科保健の課題にも触れていきます。

また、母子保健推進員の会、食生活改善推進委員協議会、公衆衛生協会など、地域の健康づくりリーダーの歯科保健に関する意識をさらに高めるとともに、歯と口の健康づくりの取り組みを協働して行います。

計画の進行管理

この計画の進行管理は五泉市歯科保健推進会議で行っていきます。

基本目標

五泉市がめざす歯科保健のあるべき姿として、以下の基本目標を掲げます。

いつまでもよい歯でおいしく楽しく食べられる

人の口の中は、乳歯の萌出や永久歯への生え変わりなど、生まれてから亡くなるまでの間に大きく様変わりしていきます。口の中の健康課題もライフステージに合わせて変化していきます。

この計画の中では、基本目標のもとに各ライフステージにあわせた6つの目標を掲げます。

目標 1

胎生期

妊娠初期から生まれてくる子の乳歯の土台作りをします

目標 2

乳幼児期

乳歯をむし歯から守ります

目標 3

学齢期

生えかわる永久歯をむし歯にしません
歯肉を健康に保ちます

目標 4

青壮年期

むし歯や歯周病を予防します

目標 5

高齢期

噛む力、飲み込む力の低下を予防します

目標 6

障がい者・要介護者

障がいがあっても歯や口の健康が保てるようにします

2 歯科保健の現状と今後のとりくみ

目標 1

胎生期

妊娠初期から生まれてくる子の乳歯の土台づくりをします

乳歯の基礎は、妊娠初期から作られ始めます。赤ちゃんがおなかの中にいる時から歯の健康づくりは既に始まっています。

行動目標

- 赤ちゃんの歯の健康のためにも、バランスのよい食事をとりましょう
- お母さん自身とこどもの歯の健康に関心を持ちましょう

五泉市の現状

その① 妊娠中に食事バランスに気をつけている割合は高いです

母子健康手帳交付時やセミナー、面談等での食事指導を実施しています。令和 4 年度に 4 か月児健診を受診したお母さんへのアンケートで、「妊娠中に食事バランスに気をつけていた」との問いに「はい」と答えた方は 85.0%で、妊婦さんの食事に対する意識や関心の高さがうかがえます。

その② 個別の妊婦歯科健診を行っています

平成 26 年度から個別の妊婦歯科健診を開始しています。受診率は、令和 2 年度 41.0%、令和 3 年度 45.8%、令和 4 年度 37.7%と、40%前後で推移しています。妊娠中は、むし歯や歯周疾患になりやすく、歯科健診を受け早期に治療することが、妊婦さん自身の健康維持のために重要です。また、健診は、妊婦さん自身や生まれてくる子どもの歯について関心を持つよい機会となります。そのため、今後も多くの妊婦さんに歯科健診を受診していただけるよう母子健康手帳交付時やセミナー、面談等で機会を捉えて勧奨を行います。

今後のとりくみ

【個人や家庭・地域でのとりくみ】

- かかりつけの歯科医院をもち、歯科健診や歯科治療を積極的に受けます
- 食事のバランスや妊娠期に必要な栄養をとるように気をつけます

【行政のとりくみ】

- 多くの妊婦が歯科健診を受けられるよう、健診の周知を行います
- 妊婦に対する歯科指導、栄養指導を充実します
- 母子健康手帳交付時やセミナー、面談等で直接保健師、助産師が、
むし歯予防や栄養指導を行うとともに、妊婦歯科健診の受診勧奨を
行います

数値目標

指 標	H30 年度	現状値 (R4 年度)	目標値	出典根拠
妊婦歯科健診受診者の割合	34.3%	37.7%	45%	市事業集計
妊娠中に食事のバランスに気をつけている人の割合	84.7%	85.0%	95%	五泉市 4 か月児健診問診票

目標 2

乳幼児期

乳歯をむし歯から守ります

乳歯のむし歯予防は生え始めてから4、5歳くらいまでが重要な時期で、生涯を通じた歯の健康づくりの基礎になります。

行動目標

○保護者がこどもの歯に関心を持ち、むし歯から守るための予防法を実践しましょう

○こどもが自分の口の中の健康に関心が持てるよう関わりましょう

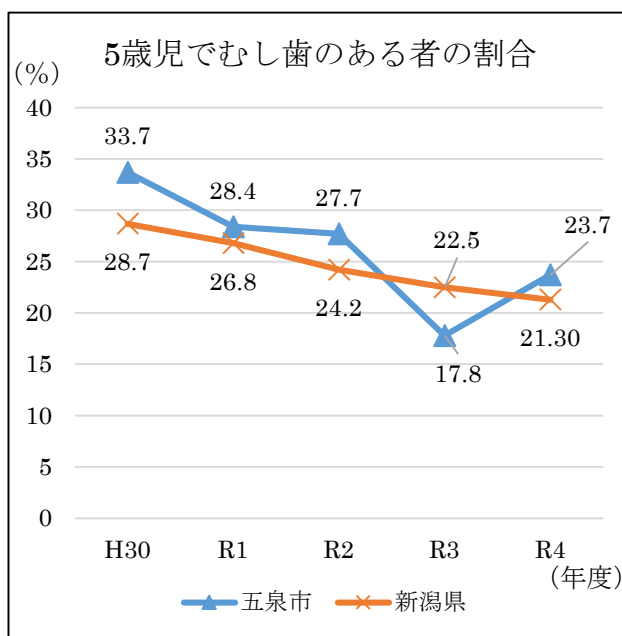
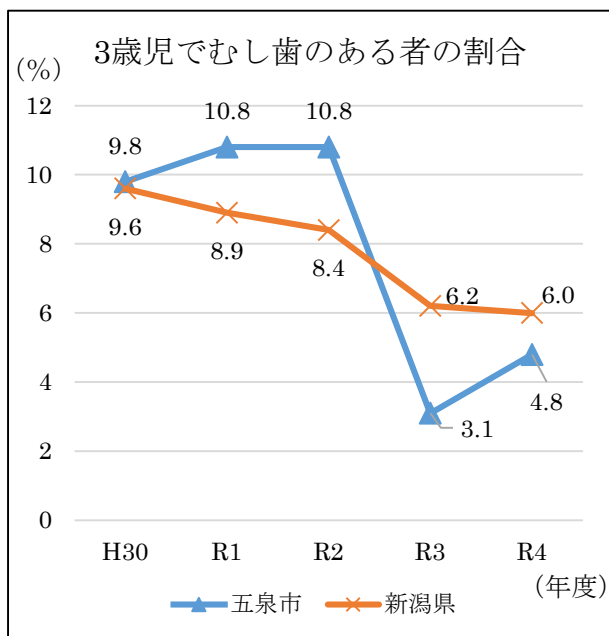
五泉市の現状

その① 乳歯のむし歯^(注1)は減ってきています

乳歯にむし歯があるこどもの割合は年々減少しています^(図1、2、3)。令和4年度、仕上げ磨きをしている割合は94.9%で、毎日している割合は1歳6か月児87.9%、3歳児91.7%と、仕上げ磨きを意識している保護者が多いです。一方、時間を決めて間食を与えている割合は61.4%となっており、約4割が特に時間を決めていません。また、近年、軟らかい食べ物が好まれ、「噛めない」「噛もうとしない」子どもが増加していると言われています。3歳児健診で咬合異常のある子どもは、令和4年度3.1%で県より低い状況です。

(注1)

乳歯のむし歯総数…未処置歯と処置歯の合計本数



* 県 歯科疾患の状況等より

R4 年度 幼児のむし歯予防習慣

仕上げ磨きの実施率				時間を決めて間食を与えている割合	
1 歳 6 か月児		3 歳児		1 歳 6 か月児	3 歳児
毎日	時々	毎日	時々	66.1%	56.3%
87.9%	2.2%	91.7%	7.9%		

＊幼児健康診査の問診より

その② フッ化物塗布^(注2)を継続しない人が多いです

1 歳 6 か月児のフッ化物塗布率は令和 4 年度 76.9%となっていますが、2 歳児のフッ化物塗布率は、60.0%、4 歳児のフッ化物塗布率は 50.8%と継続しない人が多い状況です。一方、歯の生え始めからかかりつけ歯科医をもち、個別でフッ化物塗布を受けている人もいます。

その③ 園でフッ化物洗口^(注2)を実施しています

年中児・年長児は、週 5 回、園でフッ化物洗口を安全に実施しています。令和 5 年度の希望率は 99.4%と、多くの方が希望されています。

(注2)

フッ化物塗布・・・フッ化物を歯ブラシで直接歯に塗り、むし歯になりにくい歯をつくります。五泉・村松の保健センターで実施する集団塗布と委託歯科医院で実施する個別塗布があり、どちらでも利用できます。(負担金あり) 対象は1歳6か月から保育園・幼稚園・こども園の年少相当年齢までで、概ね半年に1度の塗布をお勧めしています。

フッ化物洗口・・・フッ化物洗口液でブクブクうがいします。各保育園・幼稚園・こども園・小中学校で実施しています。対象は保育園・幼稚園・こども園の年中・年長児と小中学生の希望者です。園児は週5回法、小中学生は週1回法を行っています。

今後のとりくみ

【個人や家庭・地域でのとりくみ】

- 毎晩正しい仕上げ磨きをします
- フッ化物配合の歯みがき剤を使用します
- 1歳になったら哺乳ビンの使用をやめます
- 間食(ジュース等を含む)は1日2回までにします
- フッ化物塗布、フッ化物洗口をします
- かかりつけ歯科医院をもちます
- むし歯ができれば、早期に治療します

【保育園等・福祉関係者のとりくみ】

- こどもが口の健康に関心が持てるように働きかけます
- 園だよりや歯科指導等で正しい仕上げ磨きの推進を図ります
- フッ化物洗口を安全に実施します

【保健・医療関係者のとりくみ】

- 歯科医院は、個別フッ化物塗布や治療等での来院者に対し、歯科指導を充実します

【行政のとりくみ】

- 乳幼児健診等での歯科指導を充実します
- 公立、私立保育園・幼稚園・こども園でむし歯予防教室を行います
- 広報やホームページ等を活用し、乳歯のむし歯予防の知識・技術の普及に努めます

数値目標

指 標	H30 年度	現状値 (R4 年度)	目標値	出典根拠
3歳でむし歯のない者の割合 (注3)(3歳児健康診査)	90.2%	95.2%	100%	母子保健事業報告
5歳でむし歯のない者の割合	66.3%	76.3%	80%※1	県歯科疾患実態調査
2歳児のフッ化物塗布受診率	63.7%	60.0%	70%	市事業集計

※1…新潟県歯科保健医療計画(第5次)の目標値にあわせた数値

(注3)

乳歯でむし歯のない者の割合…未処置歯、処置歯いずれも有さないの数/被験者数×100%

目標 3

学齢期

**生えかわる永久歯をむし歯にしません
歯肉を健康に保ちます**

永久歯は6歳前後から生え始め、おおよそ小・中学生のころに生えかわります。この時期がむし歯の一番しやすい時期ですので、保護者はもちろん、児童・生徒が自らむし歯予防に努めなければなりません。また、将来、歯を失う原因のほとんどは、むし歯と歯周病ですので、歯肉の健康にも気をつける必要があります。

行動目標

- 児童・生徒が永久歯と歯肉を健康に保てるように、予防法を学び実践します
- 保護者は、こどもの歯や歯肉に関心を持ち、むし歯予防や早期治療に努めます

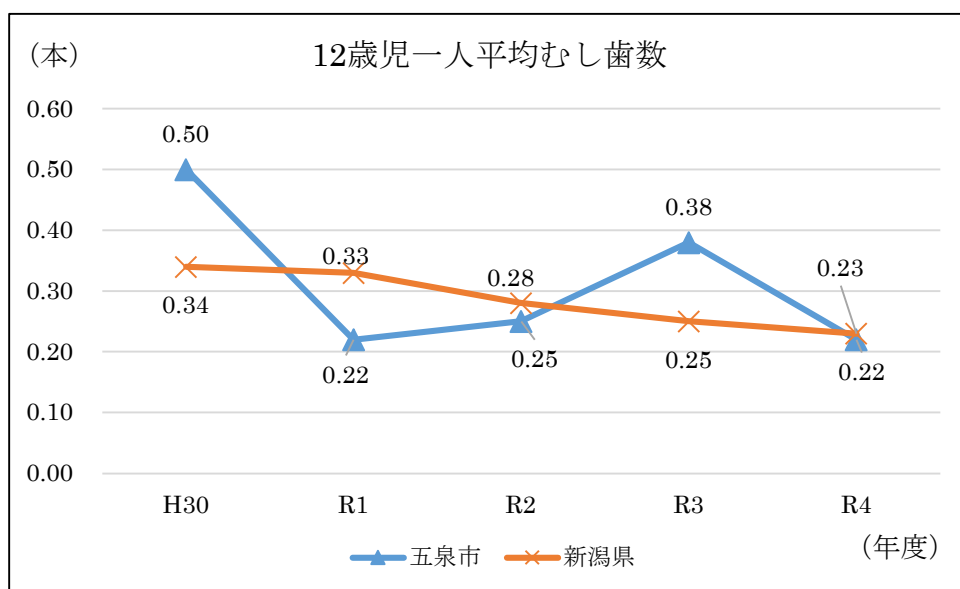
五泉市の現状

その① 永久歯のむし歯数は減少しています^(図4, 5)

12歳児一人平均むし歯数^(注4)は年々減少してきており、令和4年度は0.22本と、県平均の0.23本より低い状況でした。

(注4)

12歳児一人平均むし歯数・・・12歳児(中学校1年生)が永久歯28本中、1人につき平均何本むし歯を持っているかということ(むし歯には、処置歯、未処置歯、喪失歯すべて含みます)12歳児一人平均むし歯数は、むし歯の状態を知るものさしになっています



* 県 歯科疾患の現状と歯科保健対策

その② 小中学校でフッ化物洗口を実施しています

平成 22 年度より全小学校で、希望者にフッ化物洗口を実施しています。また、平成 30 年度より全中学校で、希望者にフッ化物洗口を開始しました。

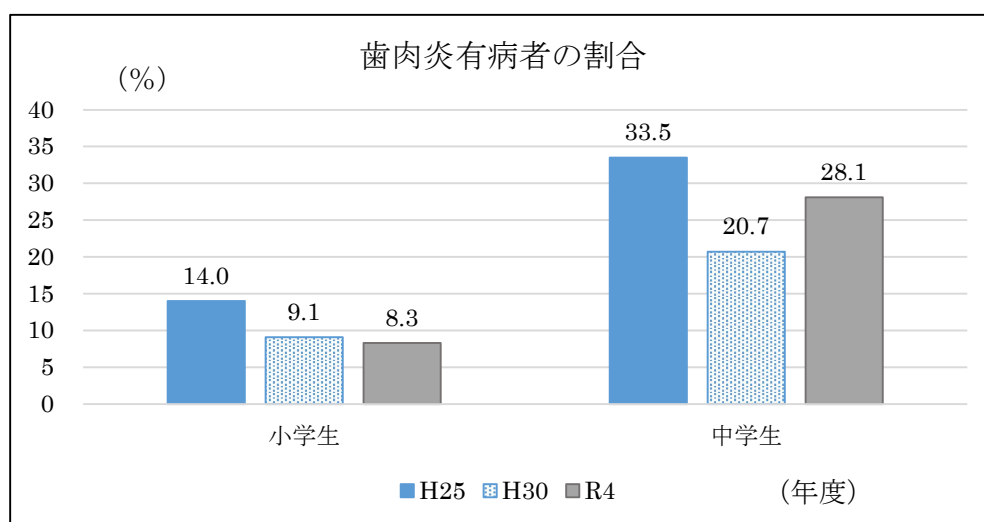
フッ化物洗口の目的である永久歯のむし歯予防のためには、永久歯に生えかわった後 2～3 年継続して実施することが効果的です。そのため、小学校と中学校でのフッ化物洗口を今後も継続して実施していきます。

その③ 中学生の約 3 割に歯肉炎の症状があります^(図6)

歯肉炎有病者の割合^(注5)は、令和 4 年度小学生 8.3%⇒中学生 28.1%と、中学生になると増えています。歯肉炎の改善にはデンタルフロス等の歯間部清掃補助用具の使用が効果的です。そのため、小中学生に対するデンタルフロスの使い方についての指導を今後も継続していきます。

(注5)

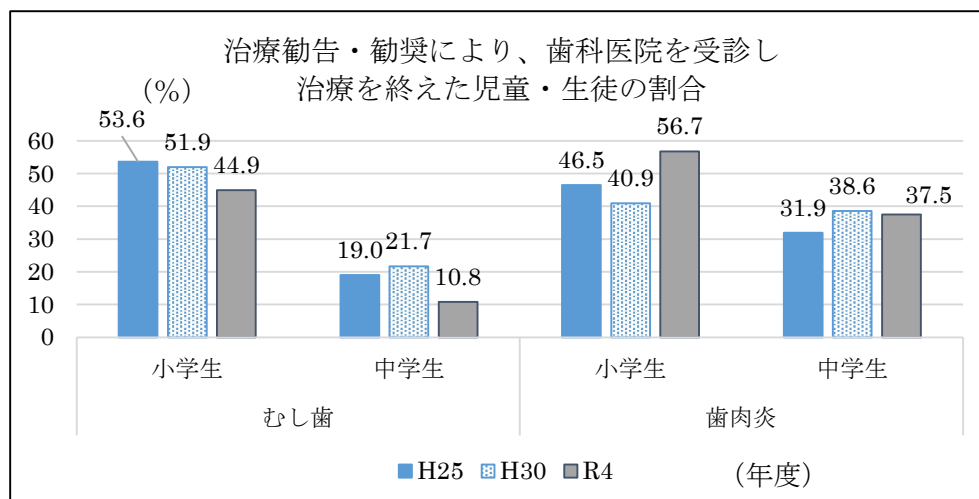
歯肉炎有病者の割合…歯肉の状態が区分1(G0 要観察)または区分2(G 要精検)と判断された者の数/被験者数×10



* 歯科疾患実態調査より

その④ むし歯や、歯肉炎で治療勧告・勧奨により受診し治療を終えた児童・生徒の割合は低い状況です^(図7)

むし歯や歯肉炎で受診勧奨を受け受診する人の割合は、小学生はむし歯約 4 割、歯肉炎 6 割弱、中学生はむし歯約 1 割、歯肉炎約 4 割となっています。



* 歯科疾患実態調査より

今後のとりくみ

【個人や家庭・地域でのとりくみ】

- 1日3回正しい歯磨きをします
- デンタルフロスを正しく使用します
- フッ化物配合の歯みがき剤を使用します
- 学校でのフッ化物洗口に取り組みます
- かかりつけ歯科医をもちます
- むし歯や歯肉炎になったら、早期に治療します

【教育機関のとりくみ】

- 児童・生徒が自らの歯や歯肉を健康に保つために指導をします
- フッ化物洗口を安全に実施します
- 歯科健診で「要精密検査」「要治療」になった場合は早期に受診するように指導します

【保健・医療関係者のとりくみ】

- 学校歯科医は、学校と連携し、むし歯予防や歯肉炎予防に努めます

【行政のとりくみ】

- 小学校・中学校での巡回歯科指導を継続します
- 小学校・中学校でのフッ化物洗口を継続します

数値目標

指 標		H30 年度	現状値 (R4年度)	目標値	出典根拠
12歳でむし歯のないものの割合 ^(注6)		77.8%	88.8%	90%※1	県歯科疾患 実態調査
歯肉炎有病者の割合	小学生	9.1%	8.3%	5%	
	中学生	20.7%	28.1%	20%	
治療勧告・勧奨 により、歯科医院 を受診し治療を 終えた児童・生徒 の割合	むし歯	小学生	51.9%	44.9%	
		中学生	21.7%	10.8%	
	歯肉炎	小学生	40.9%	56.7%	
		中学生	38.6%	37.5%	

※1…新潟県歯科保健医療計画(第5次)の目標値にあわせた数値

(注6)

永久歯のむし歯総数…未処置歯、喪失歯、処置歯の合計本数

永久歯でむし歯のない者の割合…未処置歯、喪失歯、処置歯いずれも有さないの数/被験者数×100%

目標 4

青壮年期 むし歯や歯周病を予防します

青壮年のむし歯は、過去に治療したむし歯の再発と歯肉が下がることによる歯の根元のむし歯が多くを占めます。また、歯周病は青壮年期から増え始めていきます。歯周病が悪化すると、歯周病菌が血液中に入り込み全身へ循環します。その結果、全身のさまざまな場所で病気を引き起こしたり、悪化させたりします。特に糖尿病や動脈硬化とは互いに影響しあっています。全身の健康を維持するために、歯や口の健康を維持することが必要です。

行動目標

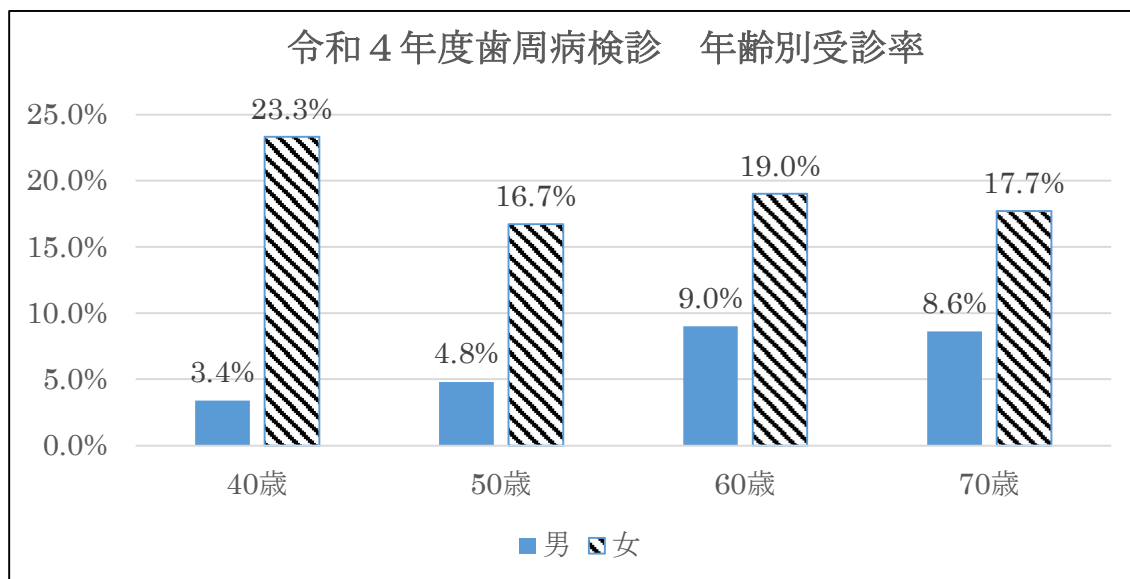
- 歯ブラシと清掃補助用具を使って、口の中をきれいにする習慣をつくりましょう
- 症状がなくても定期的に歯科医院で健診を受け、歯石を取りましょう
- 口の健康のためにもタバコをやめましょう

五泉市の現状

(令和元年度～令和4年度に実施した歯周病検診結果より)

その① 歯周病検診^(注7)受診率が低いです^(表3)

令和4年度の歯周病検診の受診率は、全体で 12.8%となっています。令和3年度の他市町村平均 10.8%(市町村歯科保健事業実施状況より)とほぼ同水準となっています。しかし、五泉市の男性の受診率は女性と比べると低く、特に40、50歳代は3～4%台と低いです。

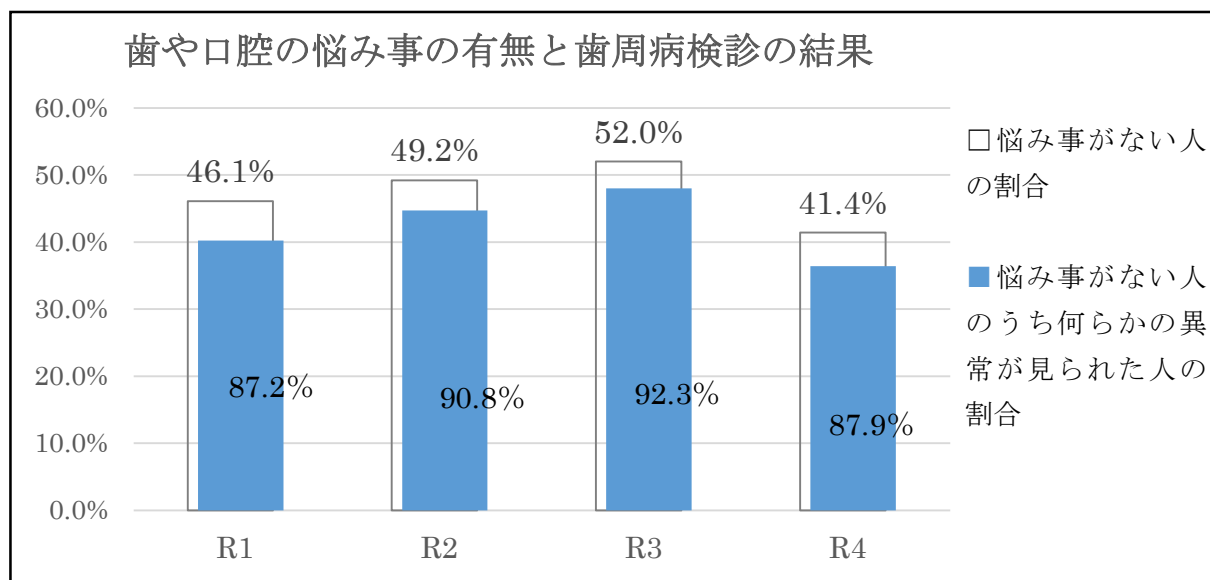


(注7) 歯周病検診…年度末時点で40・50・60・70歳になる市民が対象。市内歯科医院にて歯と歯ぐきの検査や歯周ポケットの状況などお口の状態や機能のチェックをします。

その② 歯周病の疑いがある人は少なくありません

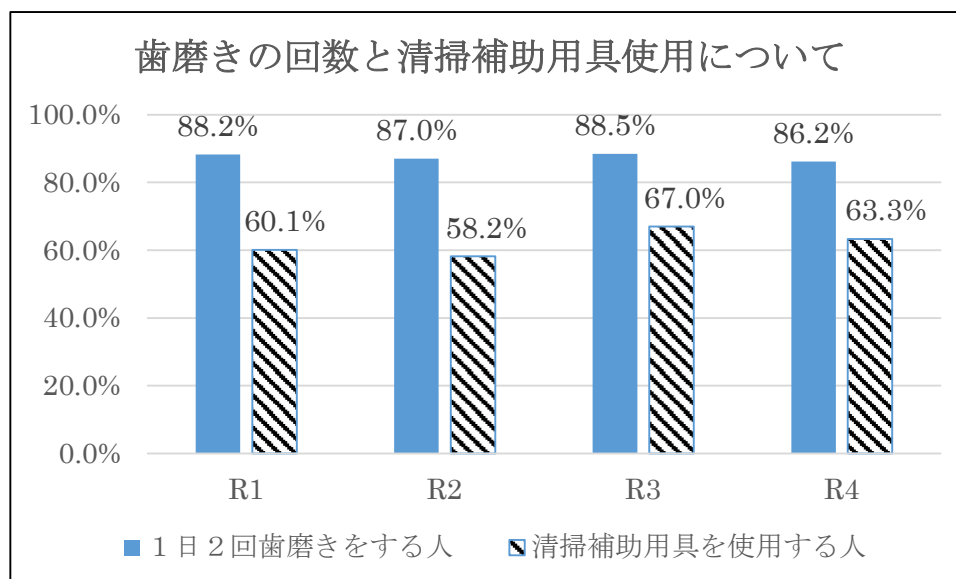
歯周病検診の結果、お口に何らかの異常が見られた人(判定区分が要指導・要精密検査の方)の割合は受診者の約9割です(令和元年度:92.1%→令和4年度:90.6%)(表⁵⁾)。

「歯ぐきが腫れる」「歯が痛む」「歯ぐきから血が出る」という、歯や口腔の悩み事がない人の割合は横ばいでした(令和元年度:46.1%→令和4年度:41.4%)(表¹¹⁾)。しかし、歯や口腔の悩み事がない人のうち、お口に何らかの異常がある人は約9割でした。



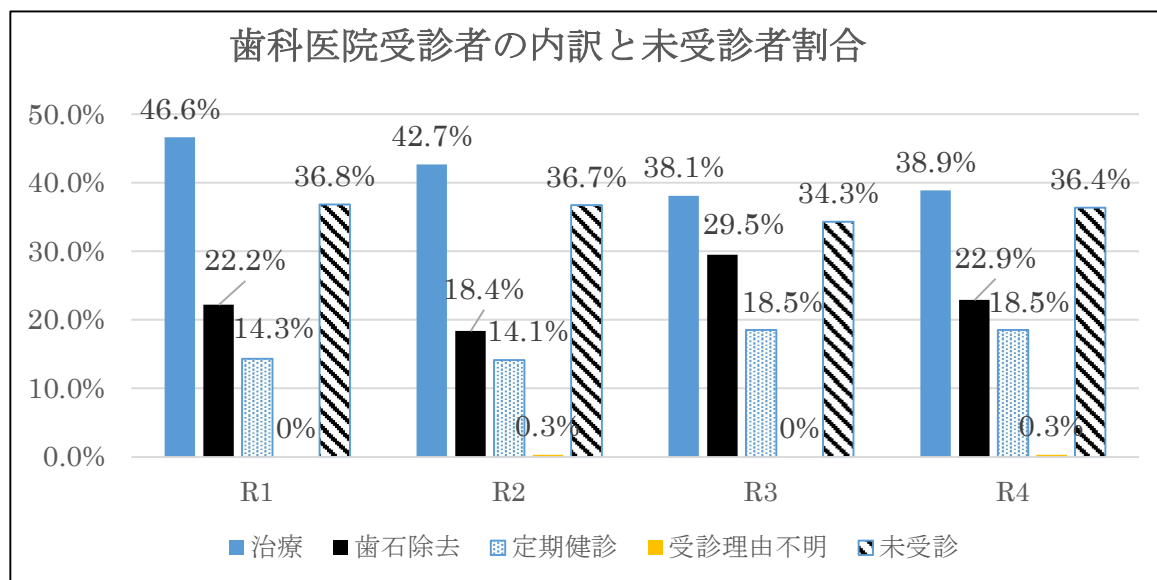
その③ 清掃補助用具を使用する人は増えていません

1日2回以上歯磨きをする人の割合は横ばいです(令和元年:88.2%→令和4年:86.2%)。また、デンタルフロスまたは歯間ブラシを使用している人の割合は増えていません(令和元年度:60.1%→令和4年度:63.3%)。むし歯や歯周病を予防するためには、デンタルフロスや歯間ブラシ等の清掃補助用具を使用し、歯と歯の間の部分の歯垢を除去することが必要です。



その④ 定期的に歯科医院へ受診している人は増えていません

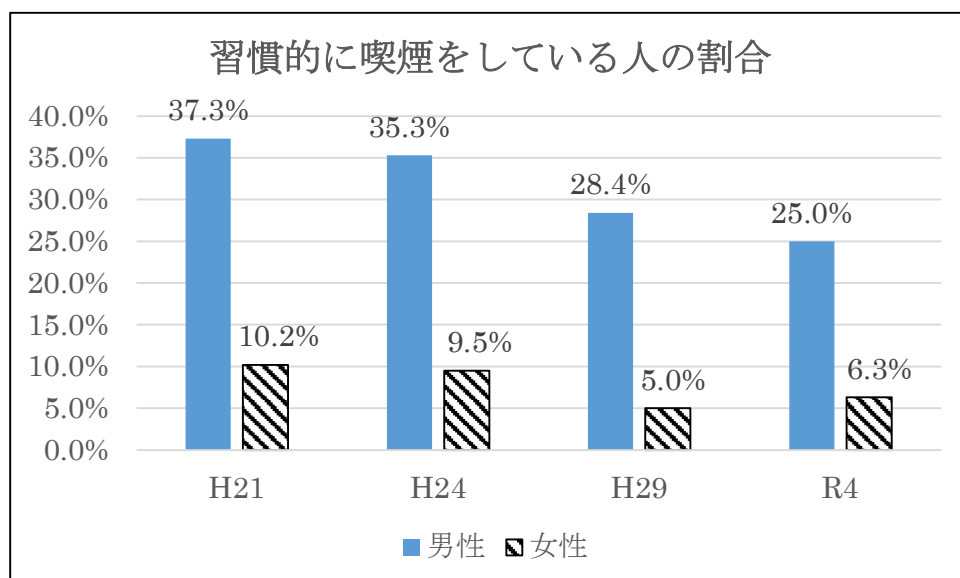
歯科医院未受診者の割合は横ばいです(令和元年度:36.8%→令和4年度:36.4%)。また、定期的に歯科医院へ行き、治療を受ける人は減り、歯石除去や定期健診を受けている人の割合が増えています。歯科健診を受けることや歯石除去をすることが、むし歯や歯周病の進行の予防に大切です。



その⑤ タバコを習慣的に吸っている人の割合はまだ高いです

喫煙によって歯ぐきの血流が悪くなると、歯周病菌の増加や免疫力の低下により歯周病の危険性が高まります。また、喫煙者だけでなく受動喫煙によって周囲の人の口の健康にも悪影響を及ぼします。令和4年度市民の健康に関する意識・生活習慣アンケートより、習慣的に喫煙している人は、男性が25.0%、女性が6.3%です(表23)。

令和4年度の市内小中学生を対象とした未成年者喫煙防止保健指導前の児童アンケートから、家庭内に喫煙者がいる児童・生徒の割合は、小学6年生が63.6%、中学2年生が51.4%(図10・11)です。



今後のとりくみ

【個人や家庭・地域でのとりくみ】

- 歯ブラシや清掃補助用具を使って、口の中をきれいにします
- 定期的に歯科健診を受け、歯石を取ります
- 歯や全身の健康のためにもタバコをやめます
- 家族の健康にも関心を持ち、共に行動します
- 地域や職場などで、歯と口の健康について話題にしたり、健康イベントや歯科健診・健康相談などに積極的に出席します
- 地域の健康づくりリーダー^(注8)が活動を通じて、個人や家庭の歯と口と全身の健康づくりを支援します
- 大人のむし歯予防のために、歯科医院で定期的にフッ化物塗布を行ったり、フッ化物入り歯磨き剤を使います

【保健・医療関係者のとりくみ】

- 歯科医院は、歯周病検診や治療等での来院者に対し、歯科指導を充実します

【行政のとりくみ】

- 歯や口の健康を保つことの大切さや、その方法について情報を提供します
- 噛む力の判定や歯周病判定の機会を提供します
- 歯周病検診の機会を提供します
- 禁煙を支援し、未成年者には喫煙防止保健指導を行います
- 地域の健康づくりリーダーと協働して、歯や口と全身の健康づくりを進めていきます

(注8) 地域の健康づくりリーダー…母子保健推進員や食生活改善推進委員など

数値目標

指 標		H30 年度	現状値 (R4年度)	目標値	出典根拠
歯や口腔の悩み事がない人の割合		42.1%	41.4%	50%	五泉市歯周病 検診
1日2回以上歯磨きをする人の割合		86.0%	86.2%	90%	
清掃補助用具を使用している人の割合		56.7%	63.3%	80%	
過去1年間に歯科医院を受診した割合		63.3%	63.6%	75%	
歯周病検診受診率		10.2%	12.8%	15%	
60歳代における咀嚼良好者の割合		76.9%	76.1%	80%※1	特定健診質問票（標準的な質問票）
たばこを習慣的に吸っている人の割合	男性	28.4% (H29 年度)	25.0% (R4 年度)	24.0%※2	市民の健康に関する意識・生活習慣アンケート
	女性	5.0% (H29 年度)	6.3% (R4 年度)	4.0%※2	

※1…新潟県歯科保健医療計画(第5次)の目標値にあわせた数値

※2…五泉市健康増進計画(第3次前期)の目標値にあわせた数値

目標 5

高齢期

噛む力、飲み込む力の低下を予防します

加齢とともに歯周病やむし歯で歯を失ったり、噛む、飲み込む、話す等口の筋力が低下すると、むせや誤えんがおこりやすくなります。

行動目標

- しっかり食べられるように噛む力と飲み込む力を保ちましょう
- 歯ブラシだけでなく清掃補助用具を使って、口の中をきれいにする習慣をつくりましょう
- 症状がなくても定期的に歯科医院を受診して健診を受け、歯石を取ってもらいましょう

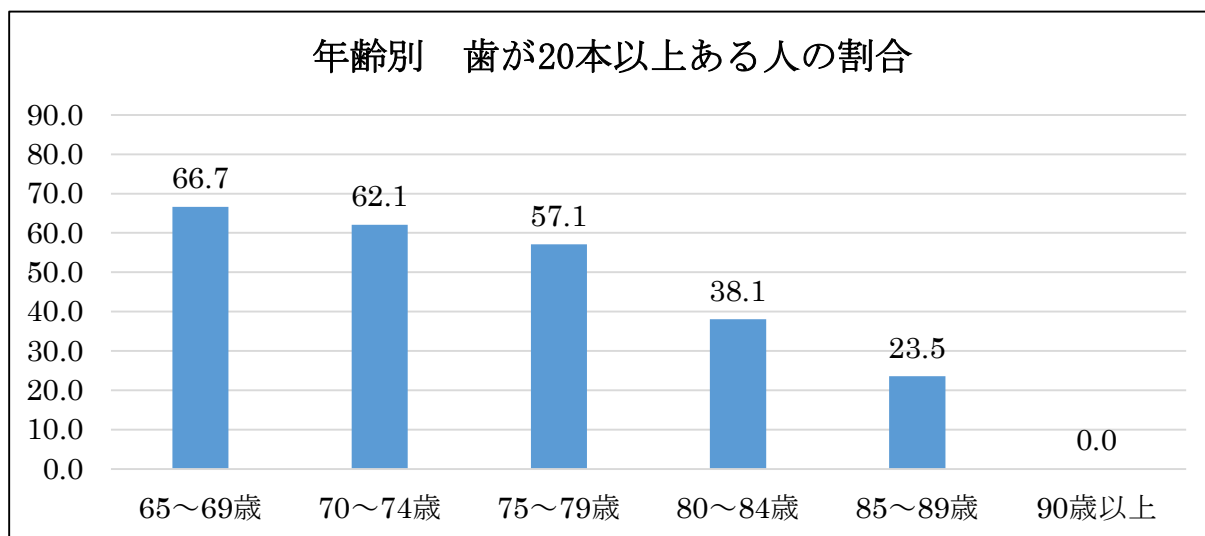
五泉市の現状

令和5年 8 月にお茶の間サロンで 112 人にアンケートを行った結果です。

その① 80 歳で自分の歯が 20 本以上ある人が増えています。

自分の歯が 20 本以上あるとほとんどの食べ物を不自由なく食べることができます。

80 歳で自分の歯が 20 本以上ある人(8020 達成者)は 49.0%と平成 30 年の 28.7%より増加しました。また、平成 30 年の結果に比べ、ほとんどの年代で自分の歯の本数が増えましたが、70 歳で自分の歯が 22 本以上ある人は、平成 30 年の 60.0%から 53.7%と減少しており、今後は 8020 達成者が減ることが予想されます^(図 12)。



70 歳（65～74 歳）で 22 本以上自分の歯を有する人 53.7%

80 歳（75～84 歳）で 20 本以上自分の歯を有する人 49.0%

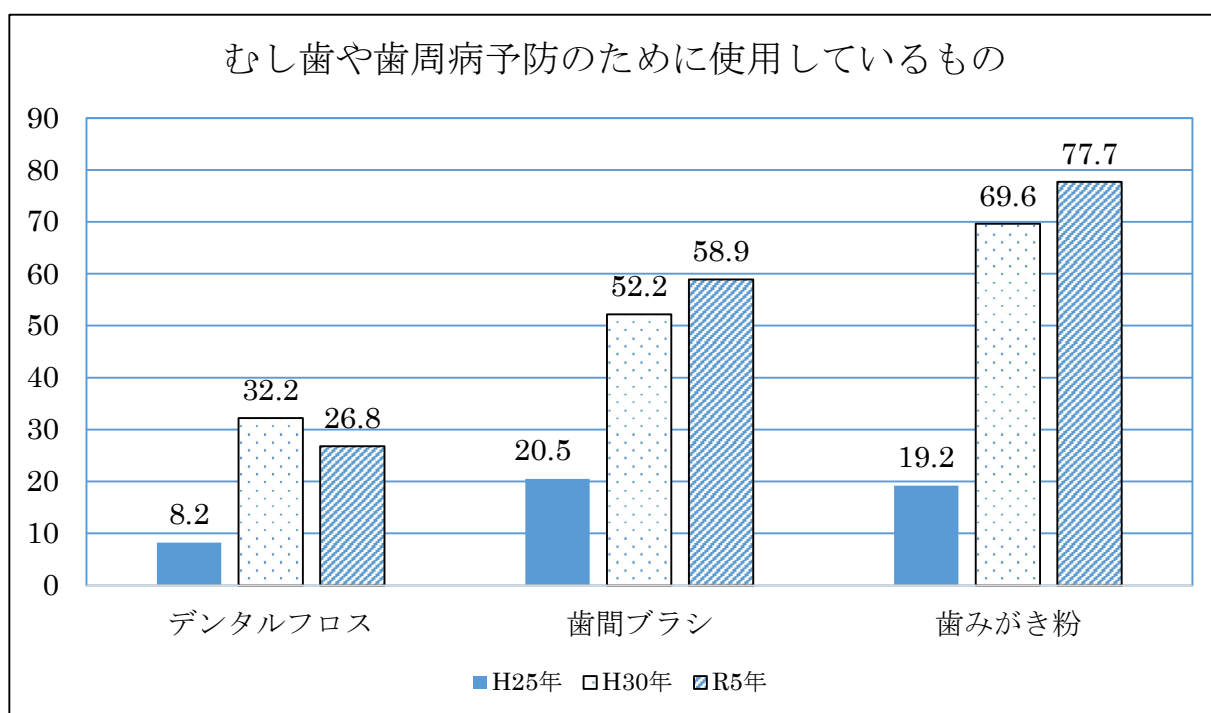
その② 歯や口の悩みで多いのは「固い物が噛みにくい」ことです

歯や口の悩みは、多い順に「固いものが噛みにくい」「歯並びや噛み合わせが気になる」「ものが食べにくい」となっています。(図 15)。

固いものが噛みにくい人は、悩みがない人に比べ、自分の歯の本数の平均が少ないです。

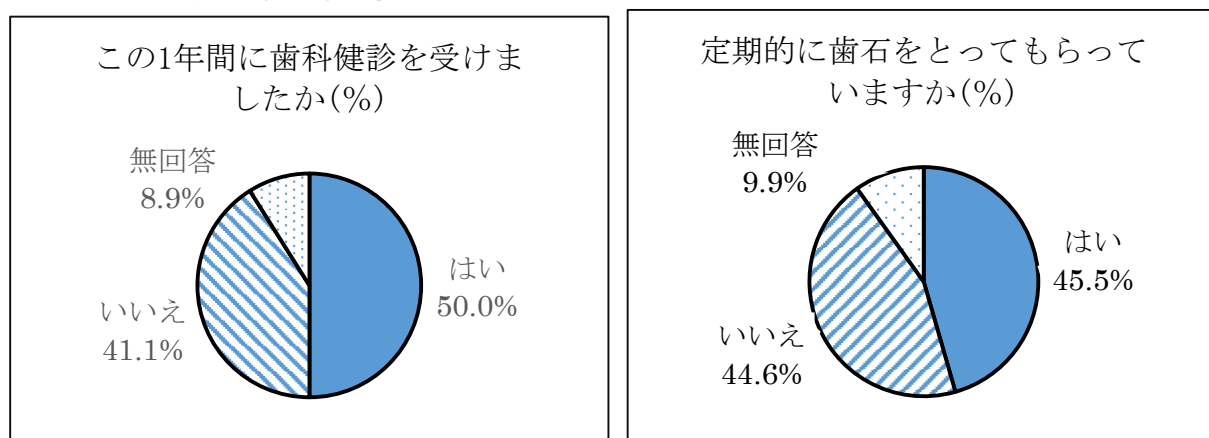
その③ 清掃補助用具を使っている人は増えています

平成 30 年と比べると、清掃補助用具を使っている人は、増加しています(表 49)。歯科医院で清掃補助用具の指導を受けたことのある人も増加しており、指導を受けることで、使用につながっているのではないかと考えられます。



その④ 定期的に歯石除去をしている人は約 4 割です

この 1 年間に歯科健診を受けた人は 50.0%、定期的に歯石をとってもらっている人は 45.5%といずれも平成 30 年度と比べやや増加しています(表 34、表 35)。健診を受けたり、歯石を取ることで、むし歯や歯周病の進行が予防できます。



今後のとりくみ

【個人や家庭・地域でのとりくみ】

- よくかんでしっかり食べ、噛む力、飲み込む力を維持します
- 年に1回は歯科健診を受け、歯石を取ります
- 歯ブラシと清掃補助用具を使用し、歯周病を予防します

【保健・医療関係者のとりくみ】

- 歯科医院は、歯科健診や治療等での来院者に対し、歯科指導を充実します
- 在宅歯科医療連携室は、相談者に対し、訪問歯科診療の相談や歯科医療機関との調整及び口腔ケアの指導を行います

【行政のとりくみ】

- 口腔機能の低下予防を含む、元気パワーアップ教室^(注 9)を開催し、食べて飲み込む力の低下を予防します
- お茶の間サロンでの歯の健康教室^(注 10)をはじめ、様々な機会でも歯や歯ぐきの健康づくりや口腔ケアに関する情報を提供します
- 歯科健診の機会を提供します

(注 9) * 元気パワーアップ教室・・・フレイル(高齢による衰弱)の予防・改善を目指し、口腔機能、足腰の筋力、栄養の講話や実技を行います

(注 10) * 歯の健康教室・・・お茶の間サロン等で口の健康、気道感染症予防の講話を行います

数値目標

指 標	H30 年度	現状値 (R5 年度)	目標値	出典根拠
80 歳(75～84 歳)で 20 歯以上自分の歯を有する人の割合	28.7%	49.0%	55%	高齢者の口の健康アンケート
70 歳(65～74 歳)で 22 歯以上自分の歯を有する人の割合	60.0%	53.7%	65%	
清掃補助用具を使用している人の割合	55.7%	62.5%	70%	
歯や口の悩みがない人の割合	41.7%	32.1%	50%	
定期的な歯石除去を 1 年間に受けた割合	36.5%	42.0%	55%	
過去 1 年間に歯科健診を受けた割合	41.7%	50.0%	55%※1	
後期高齢者歯科健診 ^(注 11) 受診率	11.0% (H30 年度)	16.9% (R4 年度)	20%	五泉市後期高齢者歯科健診

※1…新潟県歯科保健医療計画(第5次)の目標値にあわせた数値

(注 11)

後期高齢者歯科健診…年度末時点で76・80歳になる市民が対象。市内歯科医院にて歯と歯ぐきの検査や歯周ポケットの状況、飲み込みや舌の機能などお口の状態や機能のチェックをします。

目標 6

障がい者・要介護者

障がいがあっても歯や口の健康が保てるようにします

障がいをもつ人・介護が必要な人は、適切なセルフケアを行うことや歯科医院への受診が困難となる場合があります、むし歯や歯周病の悪化、治療の遅れ、誤嚥性肺炎の危険性も高まりやすいです。障がいがあっても歯や口の健康を保てるようにしましょう。

行動目標

○歯や口の不調があった場合はすぐに歯科健診や治療を受けましょう

○家族や関係者は、障がい者や要介護者の歯と口の健康について理解し、適切な口腔ケア・健診や治療を積極的に受けられるよう支援しましょう

五泉市の現状

その① 在宅要介護者等訪問歯科健診を実施しています（表 55）

在宅療養中の寝たきりの人等に歯科医が訪問し歯科健診を行う事業を実施しています。訪問歯科健診事業の利用者は多くない状況が続いています。（平成 30 年度：3人→令和 4年度：2人）市民や介護支援専門員、相談支援専門員に向けて、訪問歯科健診事業の周知を行い、必要とされている方の利用に繋げることが必要です。

その② 福祉施設の職員に対し、口腔ケア研修会を行っています（表 56）

セルフケアが困難な人の口腔ケアについて、福祉施設の職員に専門研修を行い口腔ケアの技術向上を図っています。口腔ケア実地研修事業を活用し、研修を行う施設は少ない状況です。（令和4年度：0施設）施設に対し事業のPRを行っていくことで、事業の利用促進を図ります。

その③ 障がい者施設において歯科健診を行っています（表 57）

障がい者施設（入所施設を含まない）を利用している人に対し、歯科医が施設に出向いて歯科健診を行っています。令和5年度は4施設で実施していますが、対象となる5施設全てでの実施が望まれます。

その④ 障がい児へのフッ化物塗布事業を行っています

小学校でのフッ化物洗口が困難な障がい児には、フッ化物塗布券を配布し、個別でフッ化物塗布が受けられるようにしています。また、療育教室でも歯科健診とフッ化物塗布を実施しています。

今後のとりくみ

【個人や家庭・地域でのとりくみ】

- 介護予防や誤嚥性肺炎の予防のために、歯と口の健康が大切であることを理解します
- 正しい口腔ケアの方法を学びます
- セルフケアが難しい方は、家族や支援者の支援を受けながら歯磨きを行います
- 健診を積極的に受け、適切な治療を受けます

【福祉関係者のとりくみ】

- 要介護者や障がい者の歯と口の健康を守るための知識・技術を積極的に学び、必要な人へ支援を行います

【保健・医療関係者のとりくみ】

- 歯科医院は、歯科健診や治療等での来院者や、訪問歯科診療受診者に対し、歯科指導を充実します

【行政のとりくみ】

- 関係施設に、障害児(者)歯科保健推進事業や在宅歯科保健事業等の情報提供をし、利用促進を図ります
- 介護支援専門員や相談支援専門員等を通じて、在宅要介護者等訪問歯科事業を周知し、希望する人が事業を利用できるようにします

数値目標

指 標	H30 年度	現状値 (R4年度)	目標値	出典根拠
在宅要介護者等訪問歯科健診の利用者	3 人	2 人	前年度利用者数以上	在宅要介護者等歯科保健推進事業
福祉施設の職員に対する口腔ケア実地研修会を実施した施設数	0 施設	0 施設	2 施設	
障がい児(者)施設における歯科健診・保健指導利用施設 (令和4年度対象施設 5 施設)	4 施設	4 施設	5 施設	障害児(者)歯科保健推進事業

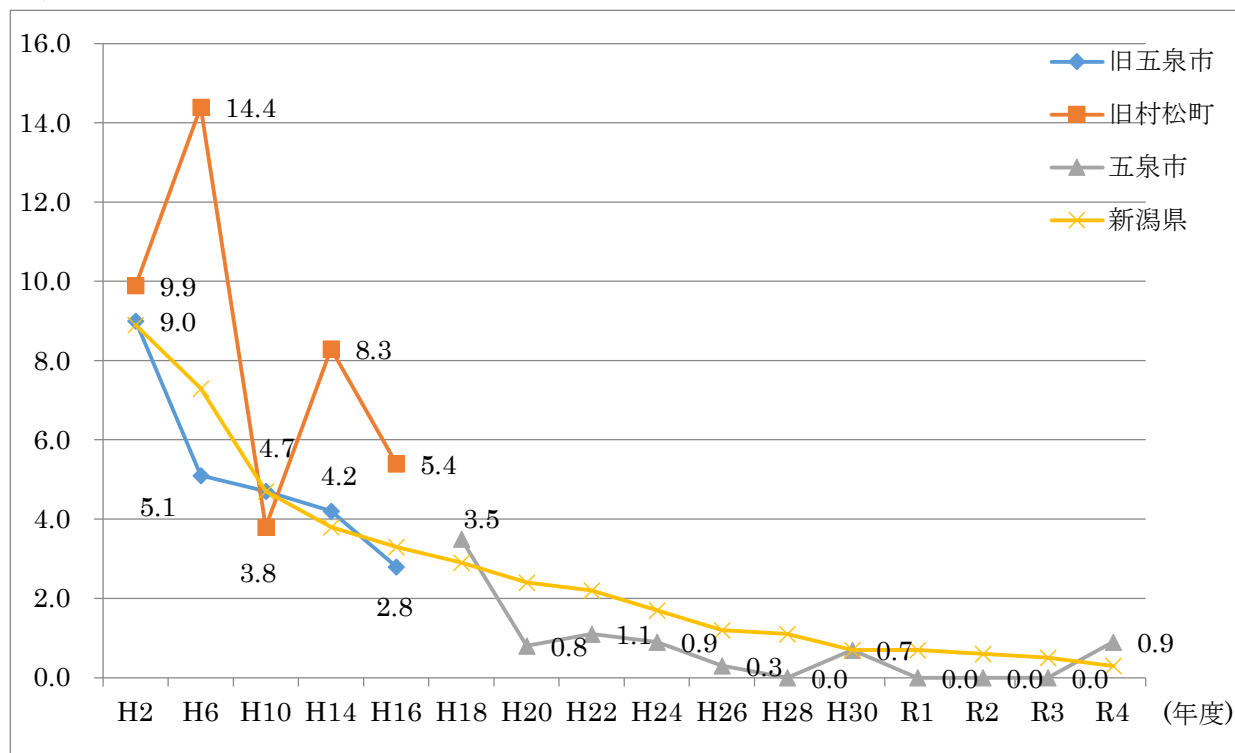
資料編

- I. 胎生期～学齡期
- II. 青壮年期
- III. 高齡期
- IV. 障がい者・要介護者

I. 胎生期～学齢期資料

1歳6か月児でむし歯がある者の割合 【図1】

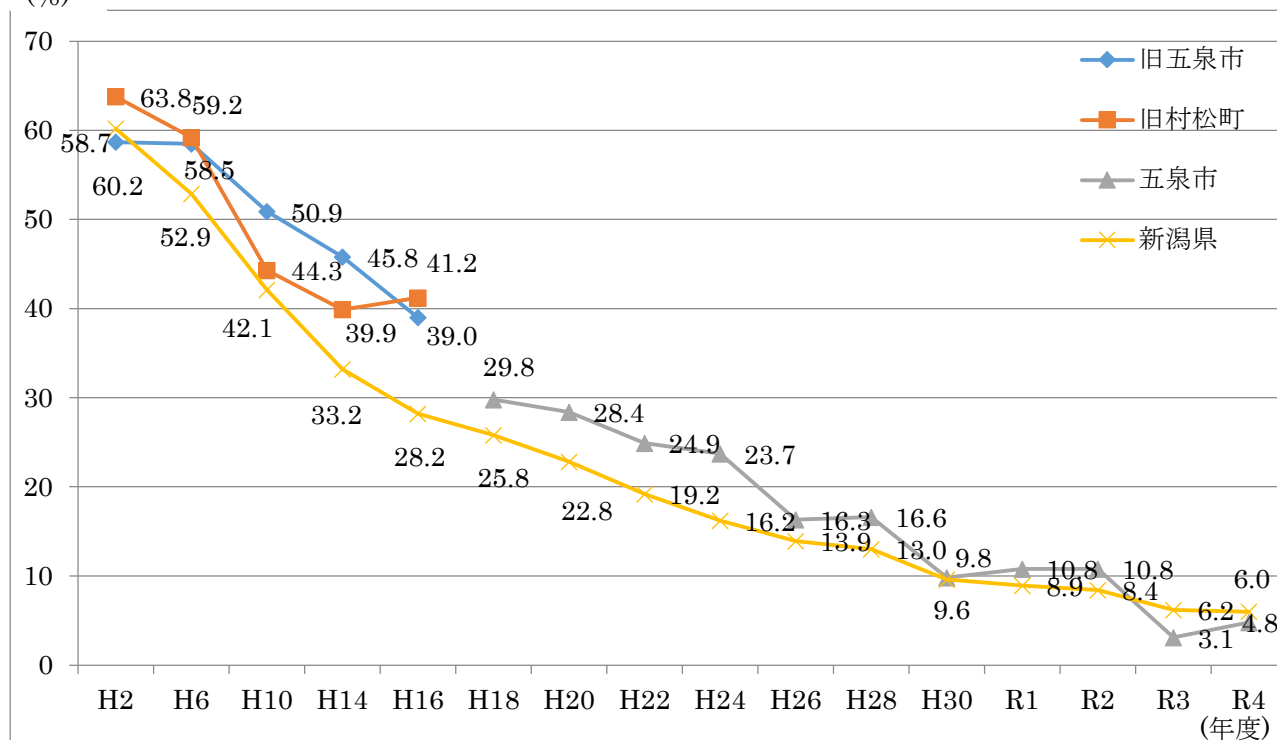
(%)



県 歯科疾患の状況等

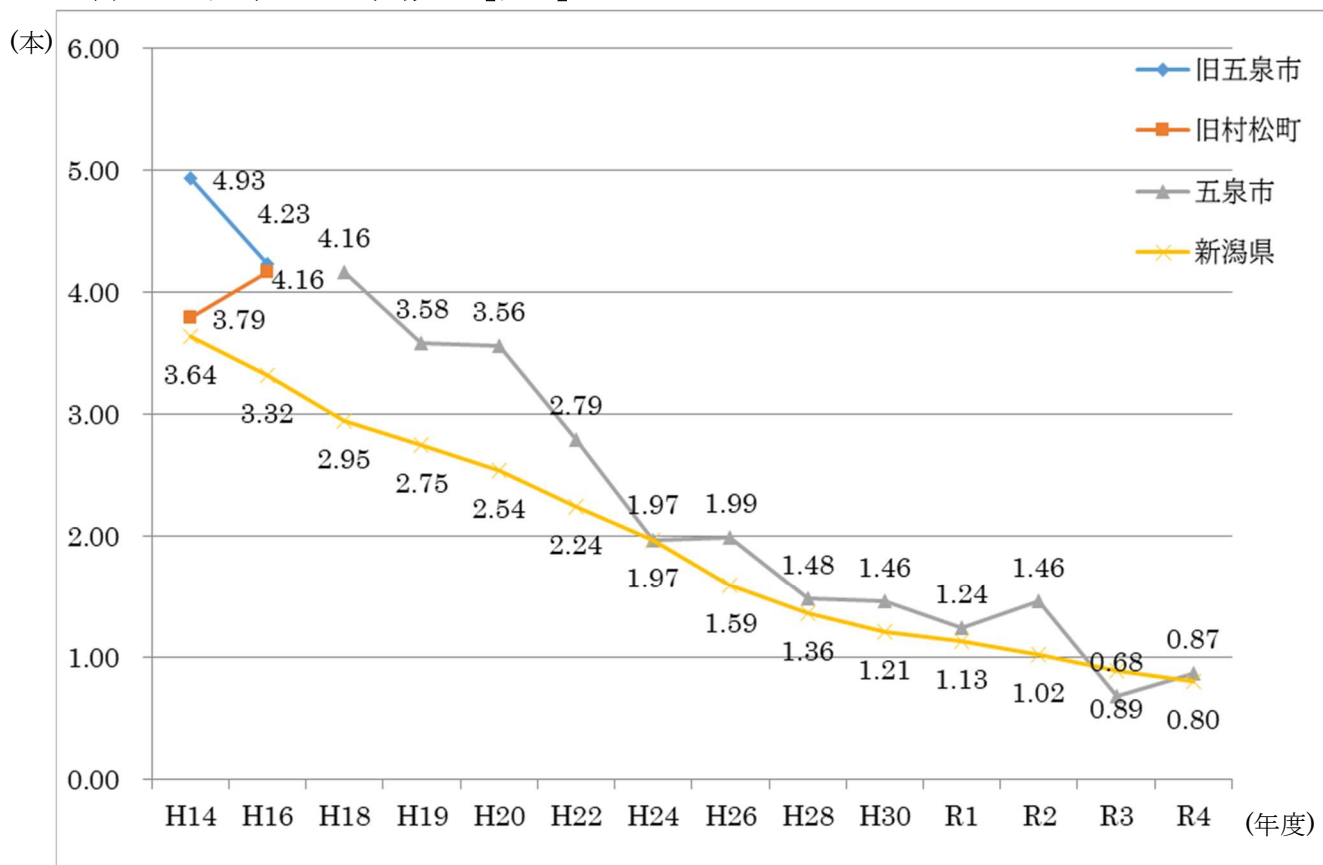
3歳児でむし歯がある者の割合 【図2】

(%)



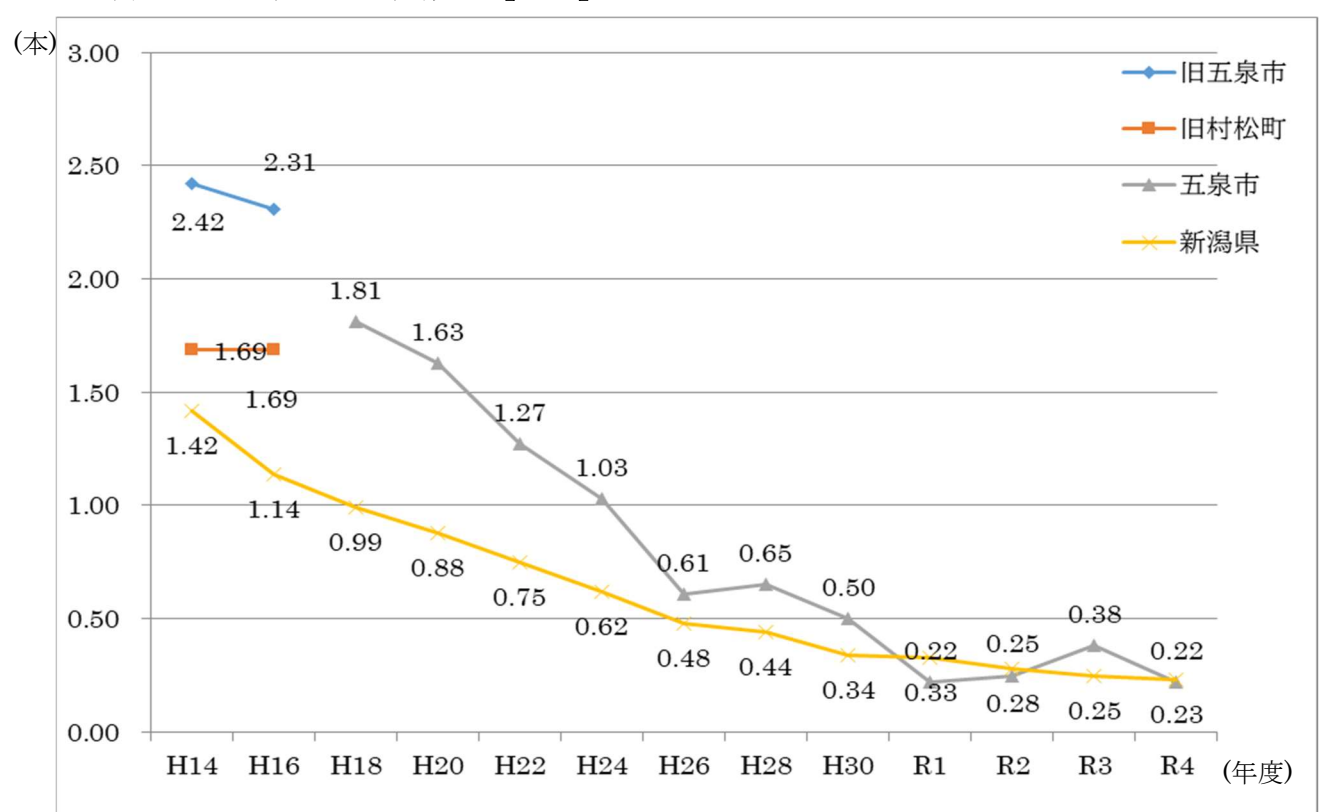
県 歯科疾患の状況等

5 歳児の一人平均むし歯数 【図 3】



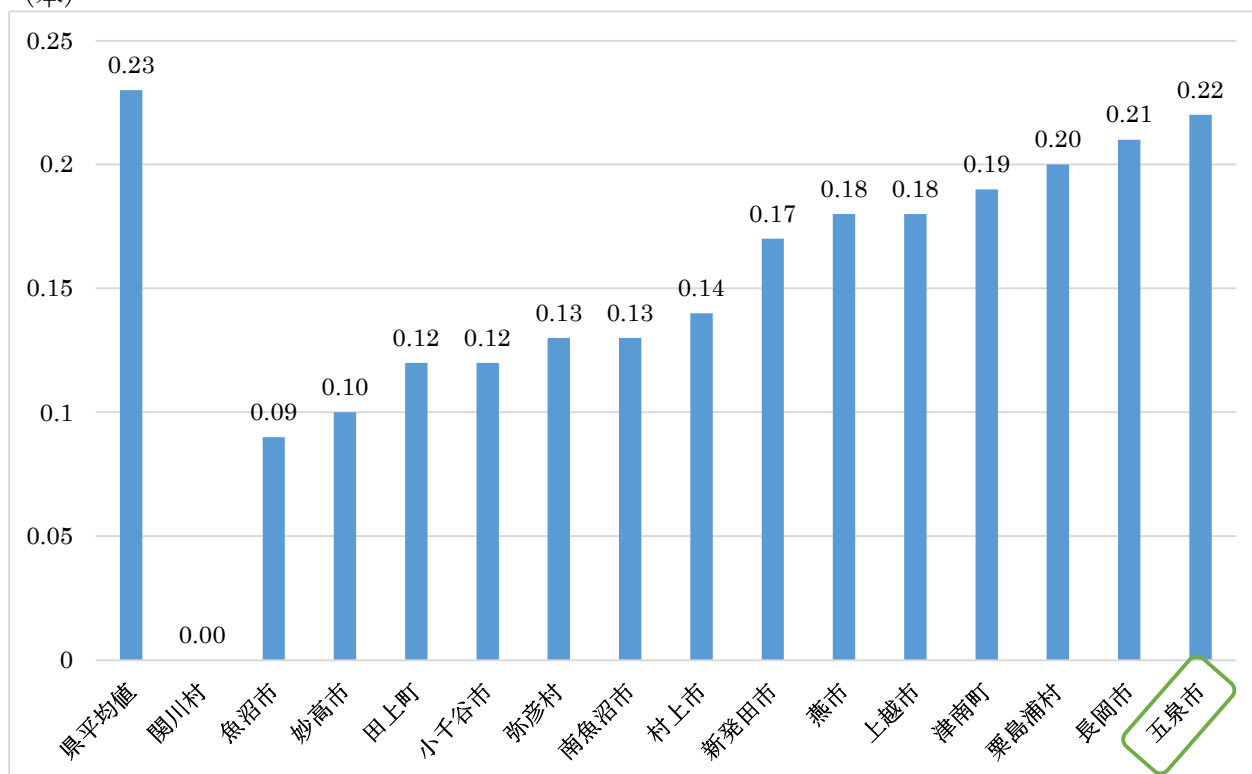
県 歯科疾患実態調査

12 歳児の一人平均むし歯数 【図 4】

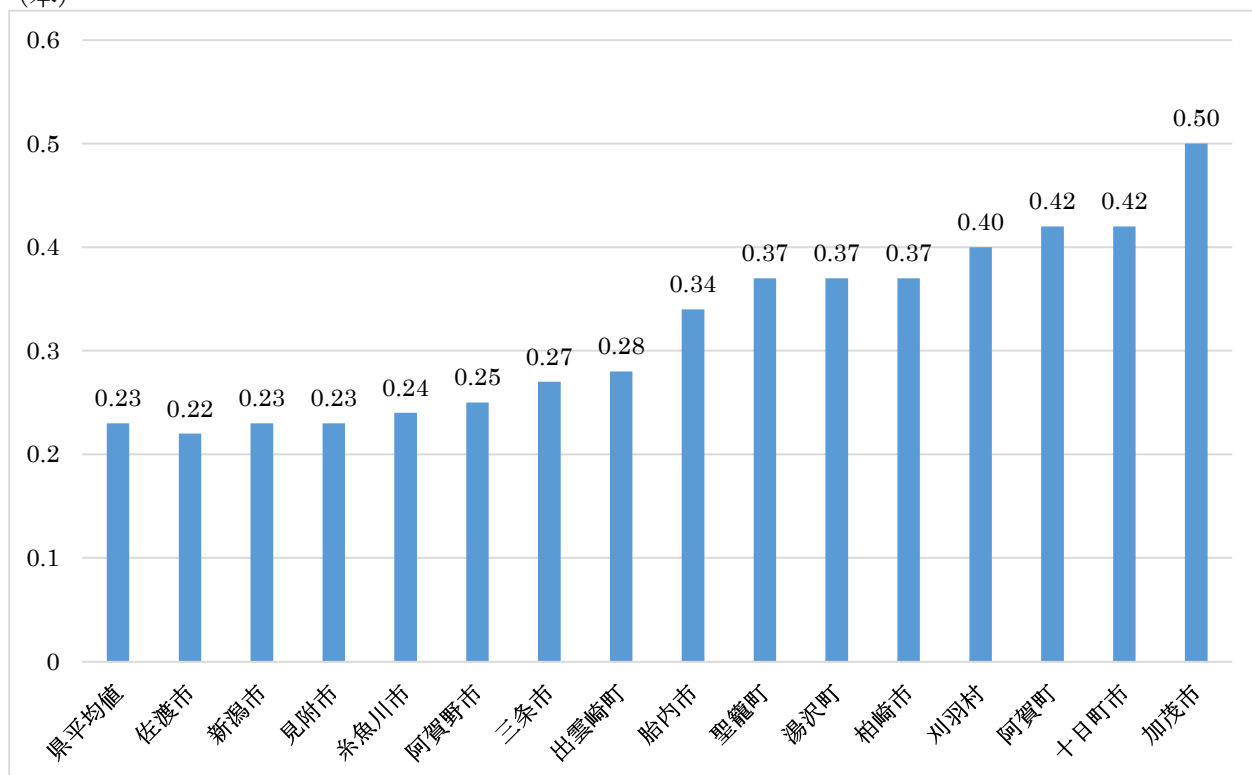


県 歯科疾患実態調査

【図5】令和4年度 市町村別 12歳児の1人平均むし歯数の比較
(本)

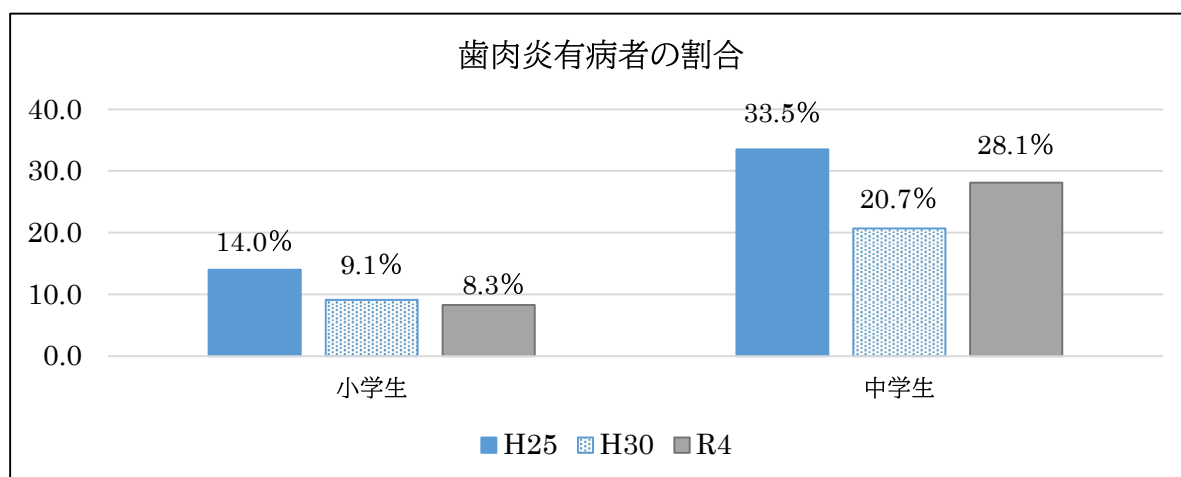


(本)

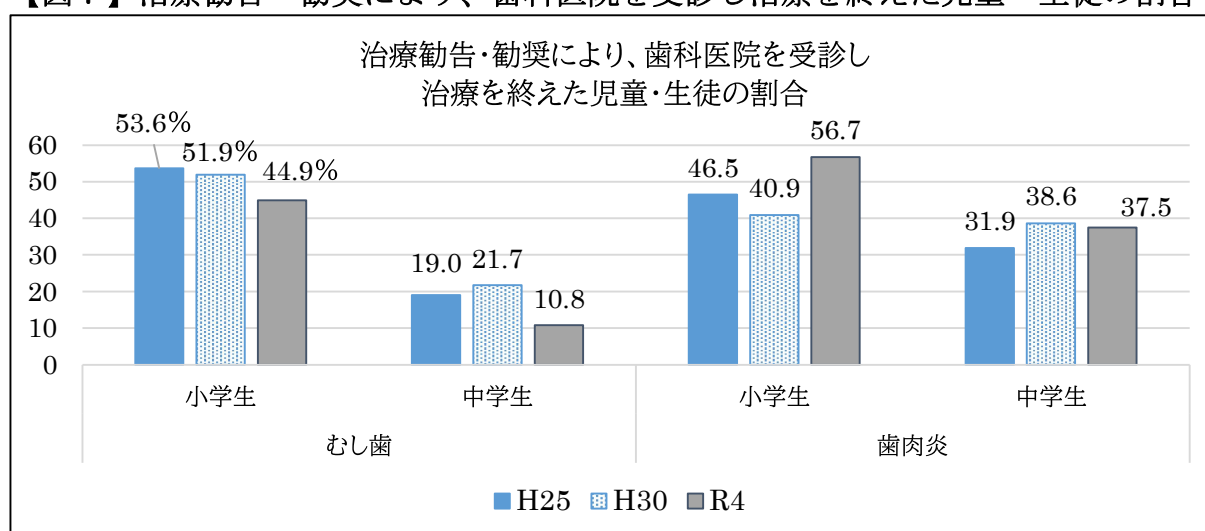


県 歯科疾患実態調査

【図6】 歯肉炎有病者の割合



【図7】 治療勧告・勧奨により、歯科医院を受診し治療を終えた児童・生徒の割合



【表1】 幼児のむし歯予防習慣

R4 年度

仕上げ磨きの実施率		1歳6か月児で哺乳瓶を使用している割合	1歳6か月児でおやつ時間を決めている割合
1歳6か月児	3歳児		
90.2%	99.6%	17.0%	69.5%

* 幼児健康診査の問診より

【表2】

R4 年度仕上げ磨きの実施率

1歳6か月児		3歳児	
毎日	時々	毎日	時々
87.9%	2.2%	91.7%	7.9%

* 幼児健康診査の問診より

Ⅱ．青壮年期資料

（２）歯周病検診の結果（R1～R4年度）

1．受診状況 【表3】

	R1			R2		
	男	女	合計	男	女	合計
対象者数	1,462	1,436	2,898	1,405	1,384	2,789
受診者数	107	249	356	119	235	354
受診率	7.3%	17.3%	12.3%	8.5%	17.0%	12.7%
	R3			R4		
	男	女	合計	男	女	合計
対象者数	1,254	1,303	2,557	1,247	1,254	2,501
受診者数	118	255	373	84	235	319
受診率	9.4%	19.6%	14.6%	6.7%	18.7%	12.8%

2．年齢男女別受診者状況 【表4】

年齢	性別	R1		R2		R3		R4	
		人数	受診率	人数	受診率	人数	受診率	人数	受診率
40 歳	男	18	6.2%	14	4.8%	18	7.4%	8	3.4%
	女	42	16.1%	51	17.4%	47	17.0%	51	23.3%
50 歳	男	14	4.3%	20	5.8%	24	7.7%	16	4.8%
	女	52	16.7%	38	13.8%	53	18.3%	51	16.7%
60 歳	男	16	4.8%	32	9.8%	21	7.6%	26	9.0%
	女	51	16.4%	50	15.2%	59	19.9%	58	19.0%
70 歳	男	59	11.6%	53	12.0%	55	13.0%	34	8.6%
	女	104	18.8%	96	19.8%	96	21.8%	75	17.7%
合計		356	12.3%	354	12.7%	373	14.6%	319	12.8%

3. 判定区分 【表 5】

判定区分	R1		R2	
	人数	割合	人数	割合
異常なし	28	7.9%	24	6.8%
要指導	92	25.8%	89	25.1%
要精密検査	236	66.2%	241	68.1%
(受診者数)	356	100%	354	100%
判定区分	R3		R4	
	人数	割合	人数	割合
異常なし	23	6.2%	30	9.4%
要指導	111	29.8%	79	24.8%
要精密検査	239	64.1%	210	65.8%
(受診者数)	373	100%	319	100%

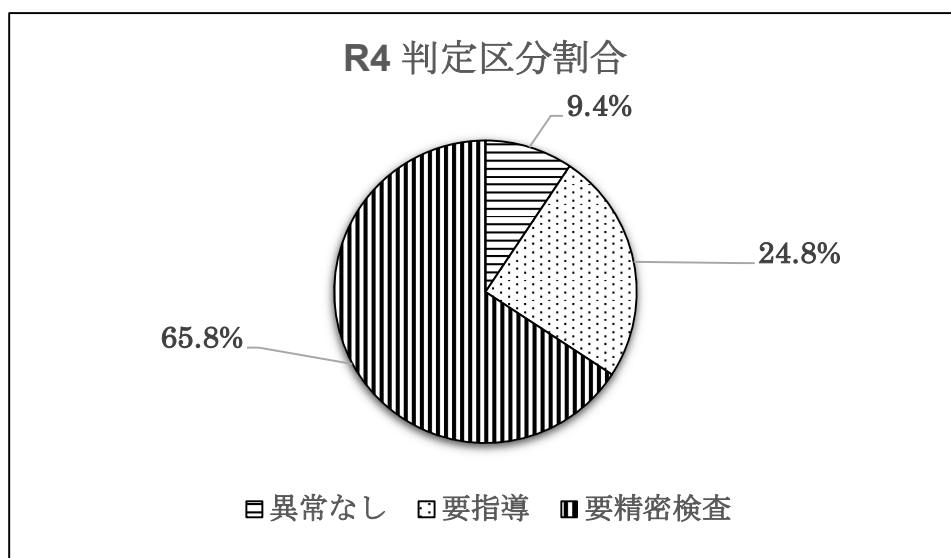


図 8

○要精密検査の内容 【表 6】

所見内容	R1		R2		R3		R4	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
CPI : 歯周ポケット 1 (4～5mm)	103	43.6%	110	45.6%	120	50.2%	108	51.4%
CPI : 歯周ポケット 2 (6mm以上)	114	48.3%	103	42.7%	107	44.8%	86	41.0%
未処置歯あり	102	43.2%	105	43.6%	103	43.1%	91	43.3%
要補綴歯あり	15	6.4%	18	7.5%	26	10.9%	14	6.7%
基礎疾患等検査や 治療を要する	10	4.2%	12	5.0%	3	1.3%	5	2.4%
その他	6	2.5%	7	2.9%	1	0.4%	2	1.0%

※複数の所見がある場合もあるため合計は 100%にならない

4. 現在歯の状況 【表 7】

	R1	R2	R3	R4
40歳平均	28.7	28.7	28.3	28.6
50歳平均	28.4	27.5	28.5	27.9
60歳平均	27	26.4	26.5	27.1
70歳平均	23.8	23.3	24.4	24.9
全体平均	27.0	26.5	26.9	27.1

70 歳で 22 本ある人の割合：83.5%
60 歳で 24 本ある人の割合：94.0%

5. 歯周組織の状況 【表 8】

所見内容	R1		R2		R3		R4	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
BOP (歯肉出血) 0	109	30.6%	141	26.2%	63	16.9%	63	19.7%
BOP (歯肉出血) 1	244	68.5%	387	71.9%	309	82.8%	255	79.9%
PD (歯周ポケット) 0 健全	76	21.3%	109	20.3%	76	20.4%	71	22.3%
PD (歯周ポケット) 1 (4～5mm)	153	43.0%	231	42.9%	172	46.1%	141	44.2%
PD (歯周ポケット) 2 (6mm以上)	124	34.8%	189	35.1%	124	33.2%	106	33.2%

6. 口腔衛生状態 【表 9】

所見内容	R1		R2		R3		R4	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
良好＝プラークの 付着が殆どない	130	36.5%	125	35.3%	142	38.1%	124	38.9%
普通＝プラークの 付着が中程度	198	55.6%	196	55.4%	203	54.4%	172	53.9%
不良＝プラークの 付着が多量	27	7.6%	33	9.3%	25	6.7%	19	6.0%
歯石の付着： なし	57	16.0%	56	15.8%	46	12.3%	50	15.7%
歯石の付着： 軽度	225	63.2%	213	60.2%	247	66.2%	204	63.9%
歯石の付着： 中等度以上	69	19.4%	77	21.8%	69	18.5%	56	17.6%

7. その他の所見 【表 10】

	R1		R2		R3		R4	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
歯列咬合	18	5.1%	13	3.7%	17	4.6%	13	4.1%
顎関節	7	2.0%	7	2.0%	7	1.9%	9	2.8%
粘膜	6	1.7%	7	2.0%	8	2.1%	2	0.6%

8. 問診項目別回答

①歯や口の悩み事がありますか 【表 11】

	R1		R2		R3		R4	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ない	164	46.1%	174	49.2%	194	52.0%	132	41.4%
ある	191	53.7%	180	50.8%	179	48.0%	187	58.6%

※R1 未回答 1 人

悩み事がある人の内訳（重複あり） 【表 12】

	R1	R2	R3	R4
歯ぐきが腫れている	16.8%	22.2%	17.3%	18.2%
歯がしみる	38.2%	35.0%	39.1%	40.6%
歯ぐきから血が出る	22.0%	23.3%	21.2%	18.2%
口臭が気になる	37.2%	39.4%	33.5%	38.0%
その他	22.0%	18.9%	26.3%	24.6%

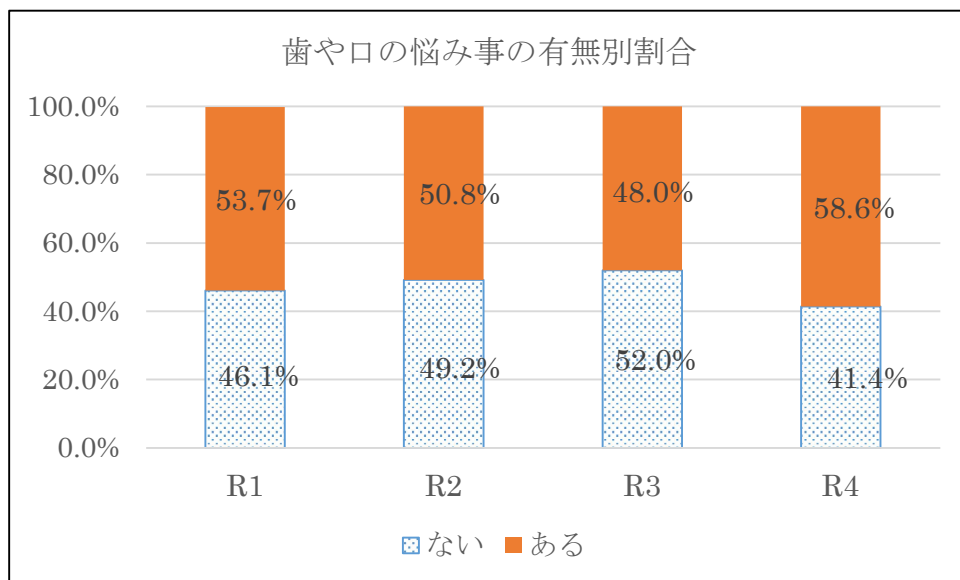


図 9

②歯磨きは1日何回しますか 【表13】

		R1				R2			
		40歳	50歳	60歳	70歳	40歳	50歳	60歳	70歳
しない	人数	0	0	0	1	0	0	0	0
	割合	0%	0%	0%	0.6%	0%	0%	0%	0%
1回	人数	5	4	9	21	3	5	12	19
	割合	8.3%	6.1%	13.4%	12.9%	4.6%	8.6%	14.6%	12.8%
2回	人数	27	28	31	92	34	31	36	81
	割合	45.0%	42.4%	46.3%	56.4%	52.3%	53.4%	43.9%	54.4%
3回以上	人数	28	33	27	48	26	21	33	46
	割合	46.7%	50.0%	40.3%	29.4%	40.0%	36.2%	40.2%	30.9%
未回答	人数	0	1	0	1	2	1	1	3
	割合	0%	1.5%	0%	0.6%	3.1%	1.7%	1.2%	2.0%
受診者数	人数	60	66	67	163	65	58	82	149
		R3				R4			
		40歳	50歳	60歳	70歳	40歳	50歳	60歳	70歳
しない	人数	0	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
1回	人数	4	7	7	20	3	9	18	11
	割合	6.2%	9.1%	8.8%	13.2%	5.1%	13.4%	21.4%	10.1%
2回	人数	37	36	41	90	24	37	43	59
	割合	56.9%	46.8%	51.3%	59.6%	40.7%	55.2%	51.2%	54.1%
3回以上	人数	24	34	31	37	32	20	23	37
	割合	36.9%	44.2%	38.8%	24.5%	54.2%	29.9%	27.4%	33.9%
未回答	人数	0	0	1	4	0	1	0	2
	割合	0%	0%	1.3%	2.6%	0%	1.5%	0%	1.8%
受診者数	人数	65	77	80	151	59	67	84	109

1日2回以上歯磨きをする人の割合（世代別） 【表14】

	全体		40歳		50歳		60歳		70歳	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
R1	314	88.2%	55	91.7%	61	92.4%	58	86.6%	140	85.9%
R2	308	87.0%	60	92.3%	52	89.7%	69	84.1%	127	85.2%
R3	330	88.5%	61	93.8%	70	90.9%	72	90.0%	127	84.1%
R4	275	86.2%	56	94.9%	57	85.1%	66	78.6%	96	88.1%

1回あたりの歯磨きの時間 【表15】

	R1		R2		R3		R4	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3分未満	67	18.8%	63	17.8%	73	19.6%	61	19.1%
3分～5分 未満	74	20.8%	85	24.0%	78	20.9%	82	25.7%
5分以上	138	38.8%	139	39.3%	145	38.9%	123	38.6%
未回答	77	21.6%	67	18.9%	77	20.6%	53	16.6%

③むし歯や歯周病予防のために使用しているものはなんですか（複数回答あり） 【表 1 6】

年度		R1					R2				
年齢		40歳	50歳	60歳	70歳	全体	40歳	50歳	60歳	70歳	全体
歯ブラシ	人数	49	60	59	124	292	56	52	73	127	308
	割合	81.7%	90.9%	88.1%	76.1%	82.0%	86.2%	89.7%	89.0%	85.2%	87.0%
デンタルフロス	人数	14	13	7	10	44	19	9	11	11	50
	割合	23.3%	19.7%	10.4%	6.1%	12.4%	29.2%	15.5%	13.4%	7.4%	14.1%
糸ようじ	人数	13	10	18	18	59	16	13	13	16	58
	割合	21.7%	15.2%	26.9%	11.0%	16.6%	24.6%	22.4%	15.9%	10.7%	16.4%
歯間ブラシ	人数	8	25	31	99	163	17	17	45	78	157
	割合	13.3%	37.9%	46.3%	60.7%	45.8%	26.2%	29.3%	54.9%	52.3%	44.4%
フッ素入り歯磨き剤	人数	23	17	15	31	86	27	13	24	30	94
	割合	38.3%	25.8%	22.4%	19.0%	24.2%	41.5%	22.4%	29.3%	20.1%	26.6%
受診者数		60	66	67	163	356	65	58	82	149	354
年度		R3					R4				
年齢		40歳	50歳	60歳	70歳	全体	40歳	50歳	60歳	70歳	全体
歯ブラシ	人数	63	64	69	133	329	53	55	72	86	266
	割合	96.9%	83.1%	86.3%	88.1%	88.2%	89.8%	82.1%	85.7%	78.9%	83.4%
デンタルフロス	人数	17	14	13	19	63	17	8	14	19	58
	割合	26.2%	18.2%	16.3%	12.6%	16.9%	28.8%	11.9%	16.7%	17.4%	18.2%
糸ようじ	人数	19	17	19	25	80	18	17	22	15	72
	割合	29.2%	22.1%	23.8%	16.6%	21.4%	30.5%	25.4%	26.2%	13.8%	22.6%
歯間ブラシ	人数	20	35	43	93	191	9	24	37	70	140
	割合	30.8%	45.5%	53.8%	61.6%	51.2%	15.3%	35.8%	44.0%	64.2%	43.9%
フッ素入り歯磨き剤	人数	18	24	23	25	90	27	19	17	23	86
	割合	27.7%	31.2%	28.8%	16.6%	24.1%	45.8%	28.4%	20.2%	21.1%	27.0%
受診者数		65	77	80	151	373	59	67	84	109	319

清掃補助用具（デンタルフロス・糸ようじ・歯間ブラシ）を使用する人の割合（世代別）

【表 1 7】

	全体		40歳		50歳		60歳		70歳	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
R1	214	60.1%	29	48.3%	36	54.5%	44	65.7%	105	64.4%
R2	206	58.2%	39	60.0%	28	48.3%	55	67.1%	84	56.4%
R3	250	67.0%	42	64.6%	52	67.5%	55	68.8%	101	66.9%
R4	202	63.3%	37	62.7%	37	55.2%	52	61.9%	76	69.7%

④過去１年間に歯科医院を受診しましたか 【表１８】

		R1					R2				
		全体	40歳	50歳	60歳	70歳	全体	40歳	50歳	60歳	70歳
治療	人数	166	13	26	33	94	151	23	19	37	72
	割合	46.6%	21.7%	39.4%	49.3%	57.7%	42.7%	35.4%	32.8%	45.1%	48.3%
歯石除去	人数	79	10	10	16	43	65	15	8	19	23
	割合	22.2%	16.7%	15.2%	23.9%	26.4%	18.4%	23.1%	13.8%	23.2%	15.4%
健診	人数	51	7	5	11	28	50	8	5	14	23
	割合	14.3%	11.7%	7.6%	16.4%	17.2%	14.1%	12.3%	8.6%	17.1%	15.4%
受診理由不明	人数	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
	割合	0%	0%	0%	0%	0%	0.3%	1.5%	0%	0%	0%
未受診	人数	131	34	29	24	44	130	24	30	30	46
	割合	36.8%	56.7%	43.9%	35.8%	27.0%	36.7%	36.9%	51.7%	36.6%	30.9%
受診者数	人数	356	60	66	67	163	354	65	58	82	149
		R3					R4				
		全体	40歳	50歳	60歳	70歳	全体	40歳	50歳	60歳	70歳
治療	人数	142	20	25	33	64	124	14	28	31	51
	割合	38.1%	30.8%	32.5%	41.3%	42.4%	38.9%	23.7%	41.8%	36.9%	46.8%
歯石除去	人数	110	16	19	20	55	73	15	14	18	26
	割合	29.5%	24.6%	24.7%	25.0%	36.4%	22.9%	25.4%	20.9%	21.4%	23.9%
健診	人数	69	5	12	14	38	59	12	9	17	21
	割合	18.5%	7.7%	15.6%	17.5%	25.2%	18.5%	20.3%	13.4%	20.2%	19.3%
受診理由不明	人数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	割合	0%	0%	0%	0%	0%	0.3%	0%	0%	0%	0.9%
未受診	人数	128	28	31	26	43	116	26	27	34	29
	割合	34.3%	43.1%	40.3%	32.5%	28.5%	36.4%	44.1%	40.3%	40.5%	26.6%
受診者数	人数	373	65	77	80	151	319	59	67	84	109

⑤ゆっくりよく噛んで食事をしますか 【表１９】

	R1		R2		R3		R4	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
はい	180	50.6%	160	45.2%	189	50.7%	152	47.6%
いいえ	173	48.6%	180	50.8%	174	46.6%	159	49.8%
不明	3	0.8%	14	4.0%	10	2.7%	8	2.5%
合計	356	100%	354	100%	373	100%	319	100%

⑥間食（甘い食べ物や飲み物）をしますか 【表２０】

	R1		R2		R3		R4	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
はい	268	75.3%	268	75.7%	287	76.9%	247	77.4%
いいえ	74	20.8%	74	20.9%	70	18.8%	61	19.1%
不明	14	3.9%	12	3.4%	16	4.3%	11	3.4%
合計	356	100%	354	100%	373	100%	319	100.0%

⑦タバコを吸っていますか 【表 2 1】

	R1		R2		R3		R4	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
現在吸っている	31	8.7%	33	9.3%	34	9.1%	34	10.7%
昔吸っていた	110	30.9%	106	29.9%	105	28.2%	106	33.2%
吸ったことがない	213	59.8%	206	58.2%	230	61.7%	175	54.9%
不明	2	0.6%	9	2.5%	4	1.1%	4	1.3%
合計	356	100%	354	100%	373	100%	319	100%

⑧全身の状態であてはまるものはどれですか 【表 2 2】

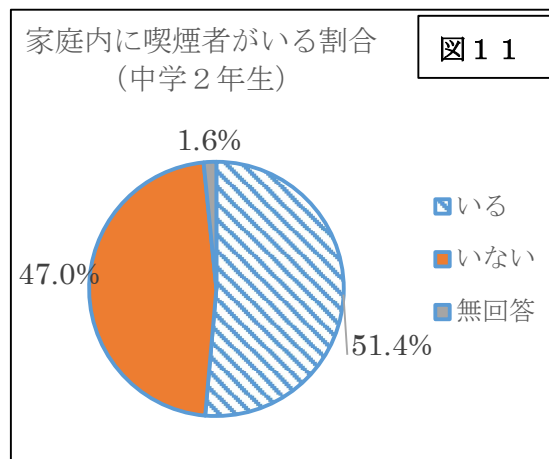
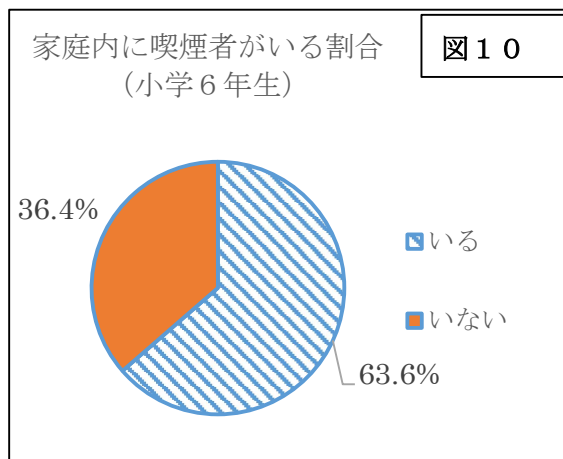
	R1		R2		R3		R4	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
糖尿病	23	6.5%	25	7.1%	29	7.8%	21	6.6%
血圧			71	20.1%	76	20.4%	73	22.9%
関節リウマチ	5	1.4%	5	1.4%	1	0.3%	4	1.3%
狭心症・心筋梗塞・脳梗塞	11	3.1%	8	2.3%	11	2.9%	2	0.6%
内臓型肥満	17	4.8%	9	2.5%	11	2.9%	10	3.1%
妊娠	1	0.3%	1	0.3%	2	0.5%	1	0.3%
その他疾患	62	17.4%	54	15.3%	52	13.9%	50	15.7%
該当なし	249	69.9%	224	63.3%	241	64.6%	194	60.8%

1. 習慣的に喫煙している人の割合 【表 2 3】

	H21	H24	H29	R4
男性	37.3%	35.3%	28.4%	25.0%
女性	10.2%	9.5%	5.0%	6.3%

市民の健康に関する意識・生活習慣アンケートより

2. 家庭内に喫煙者がいる割合(小学6年生・中学2年生)R4年度喫煙防止教育 小中学生児童アンケートより



2. 咀嚼の状況（特定健診問診項目（74歳以下）より） 【表24】

		なんでもかめる	かみにくい	ほとんどかめない
R1	人数	2,722	822	38
	割合	76.0%	22.9%	1.1%
R2	人数	2,368	666	28
	割合	77.3%	21.8%	0.9%
R3	人数	2,368	695	27
	割合	76.6%	22.5%	0.9%
R4	人数	2,143	642	24
	割合	76.3%	22.9%	0.9%

60歳代における咀嚼良好者の割合 【表25】

		なんでもかめる	かみにくい	ほとんどかめない
R1	人数	1,134	362	11
	割合	75.2%	24.0%	0.7%
R2	人数	932	275	11
	割合	76.5%	22.6%	0.9%
R3	人数	899	255	9
	割合	77.3%	21.9%	0.8%
R4	人数	794	242	7
	割合	76.1%	23.2%	0.7%

国保データベース（KDB）システムより

Ⅲ. 高齢期資料

(1) 高齢者の口の健康アンケート結果

(令和5年8月実施 アンケート回答者数 112 人)

1. 性別 【表26】

	人数	割合
男性	7	6.3%
女性	104	92.9%
無回答	1	0.9%
計	112	100%

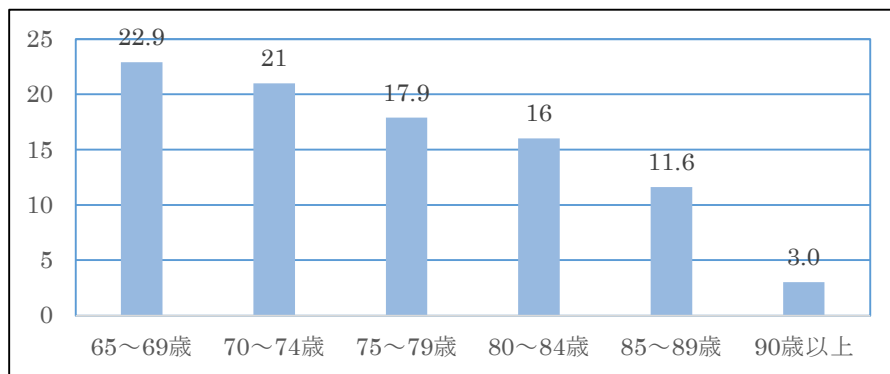
2. 年代 【表27】

	人数	割合
65～69 歳	12	10.7%
70～74 歳	29	25.9%
75～79 歳	28	25.0%
80～84 歳	21	18.8%
85～89 歳	17	15.2%
90 歳以上	4	3.6%
無回答	1	0.9%
計	112	100%

3. 現在の歯の本数は何本ですか。 【表28】

	平均
65～69 歳	22.9
70～74 歳	21.0
75～79 歳	17.9
80～84 歳	16.0
85～89 歳	11.6
90 歳以上	3.0

図 1 2



70 歳（65～74 歳）で 22 本以上自分の歯を有する人 22 人 53.7%

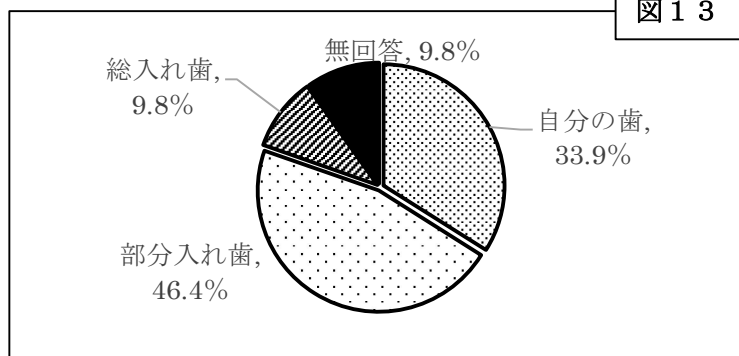
80 歳（75～84 歳）で 20 本以上自分の歯を有する人 24 人 49.0%

4. 現在の歯の状況はどうですか。

【表29】

	人数	割合
自分の歯	38	33.9%
部分入れ歯	52	46.4%
総入れ歯	11	9.8%
無回答	11	9.8%
計	112	100%

図 1 3

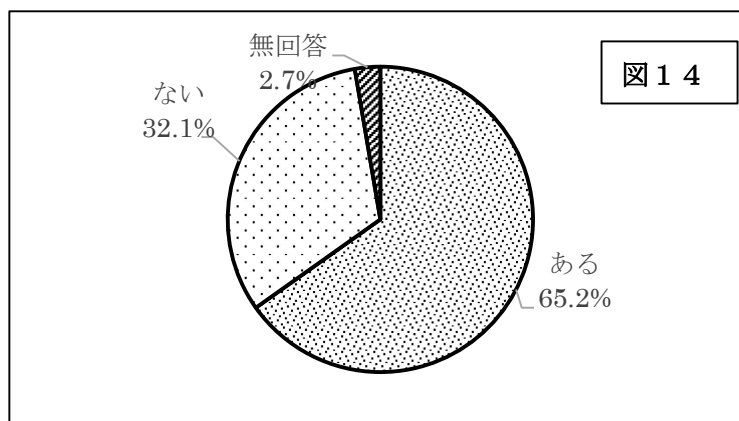


5. 現在、歯や口の中に関する悩み事がありますか。

【表30】

	人数	割合
ある	73	65.2%
ない	36	32.1%
無回答	3	2.7%
計	112	100%

図 1 4

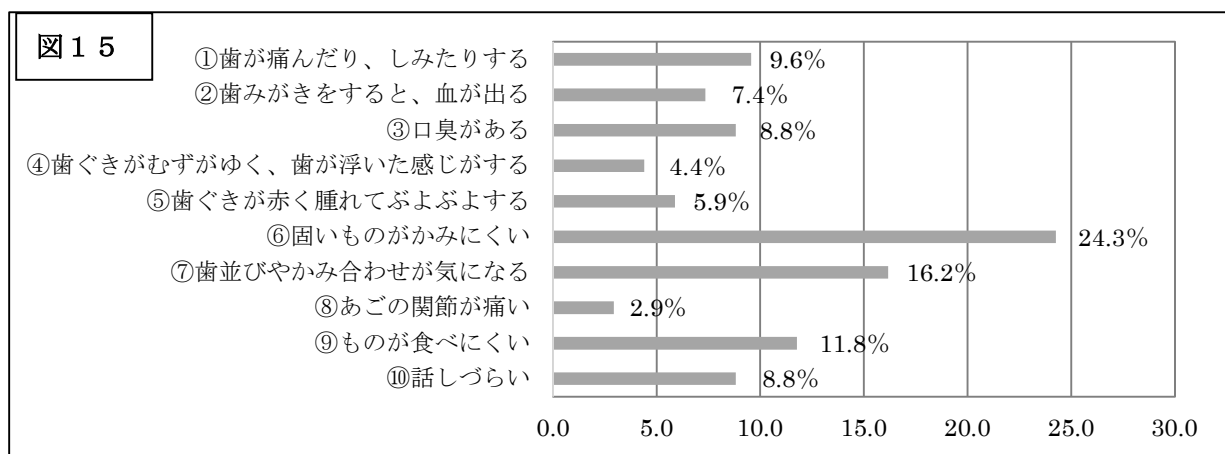


○歯や口の中に関する悩み事（あてはまるものすべてに○）

- ①歯が痛んだり、しみたりする
- ②歯みがきをすると、血が出る
- ③口臭がある
- ④歯ぐきがむずがゆく、歯が浮いた感じがする
- ⑤歯ぐきが赤く腫れてぶよぶよする
- ⑥固いものがかみにくい
- ⑦歯並びやかみ合わせが気になる
- ⑧あごの関節が痛い
- ⑨ものが食べにくい
- ⑩話しぶらい

【表 3 1】

	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上	全体
①	9.1%	10.3%	12.2%	8.2%	0%	33.3%	9.6%
②	9.1%	6.9%	7.3%	6.1%	5.0%	0%	6.6%
③	31.8%	27.6%	19.5%	10.2%	5.0%	0%	17.4%
④	4.5%	3.4%	7.3%	4.1%	5.0%	16.7%	5.4%
⑤	4.5%	3.4%	4.9%	10.2%	5.0%	16.7%	6.6%
⑥	13.6%	24.1%	22.0%	18.4%	40.0%	33.3%	22.8%
⑦	18.2%	10.3%	9.8%	10.2%	5.0%	0%	10.2%
⑧	0%	0%	0%	2.0%	5.0%	0%	1.2%
⑨	9.1%	10.3%	9.8%	16.3%	25.0%	0%	13.2%
⑩	0%	3.4%	7.3%	14.3%	5.0%	0%	7.2%



6. この1年間に歯科医院を受診しましたか。【表 3 2】

	人数	割合
はい	63	56.3%
いいえ	34	30.4%
無回答	15	13.4%
計	112	100%

7. 歯科医院へはどのような場合に行きますか。【表 3 3】

	人数	割合
①気になるところがなくとも、定期的に行く	32	28.6%
②気になるところがあると、早めに行く	22	19.6%
③痛いなど、悪い症状があったら行く	39	34.8%
④痛いなど、悪い症状があっても行かない	2	1.8%
⑤その他	0	0%
無回答	17	15.2%
計	112	100%

8. この1年間に歯科健診を受けましたか。【表 3 4】

	人数	割合
はい	56	50.0%
いいえ	46	41.1%
無回答	10	8.9%
計	112	100%

9. 歯科医院で定期的に歯石をとってもらっていますか。【表 3 5】

【母数に総入れ歯の人を含む】

	人数	割合
はい	47	42.0%
いいえ	52	46.4%
無回答	13	11.6%
計	112	100%

【母数に総入れ歯の人を含まない】

	人数	割合
はい	46	45.5%
いいえ	45	44.6%
無回答	10	9.9%
計	101	100%

10. 歯と歯ぐきの境目を意識してみがくようにしていますか。【表 3 6】

	人数	割合
はい	80	71.4%
いいえ	19	17.0%
無回答	13	11.6%
計	112	100%

11. 1 日の歯みがきをする回数は何回ですか。【表 3 7】

	人数	割合
時々（毎日磨かない）	0	0.0%
1 回	6	5.4%
2 回	57	50.9%
3 回	33	29.5%
4 回以上	3	2.7%
無回答	13	11.6%
計	112	100%

12. 歯科医院等で、次の指導を受けたことがありますか。【表 3 8】

	はい	いいえ	無回答	計
歯みがき	66.1%	22.3%	11.6%	100%
デンタルフロス（糸付きようじ等）	39.3%	26.8%	33.9%	100%
歯間ブラシ	53.6%	18.8%	27.7%	100%

13. むし歯や歯周病予防のために使用していますか。【表 3 9】

	はい	いいえ	無回答	計
デンタルフロス（糸付きようじ等）	26.8%	36.6%	36.6%	100%
歯間ブラシ	58.9%	19.6%	21.4%	100%
歯みがき粉	77.7%	6.3%	16.1%	100%

その歯みがき粉はフッ素入りですか。【表 4 0】

	人数	割合
はい	47	54.0%
いいえ	6	6.9%
分からない	22	25.3%
無回答	12	13.8%
計	87	100%

14. 鏡を使って歯や歯ぐきの様子を観察していますか。【表 4 1】

	人数	割合
①週に 1 回以上観察している。	29	25.9%
②月に 1 回以上観察している。	16	14.3%
③ほとんどしない	52	46.4%
無回答	15	13.4%
計	112	100%

15. 歯や口の健康に自信がありますか。【表 4 2】

	人数	割合
ある	20	17.9%
ない	79	70.5%
無回答	13	11.6%
計	112	100%

16. たばこを吸いますか。【表 4 3】

	人数	割合
はい	2	1.8%
いいえ	99	88.4%
無回答	11	9.8%
計	112	100%

たばこを吸う人の 1 日の本数

0～5 本 0 人

6 本以上 1 人

本数無回答 1 人

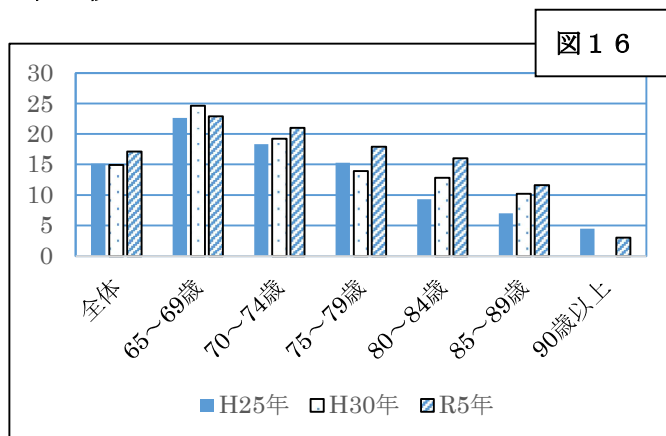
17. たばこが歯周病に与える影響をどう思いますか。【表 4 4】

	人数	割合
たばこを吸うとかかりやすくなる	29	25.9%
どちらとも言えない	36	32.1%
たばこ関係ない	8	7.1%
無回答	39	34.8%
計	112	100%

(2) 高齢者の口の健康アンケート 経年比較

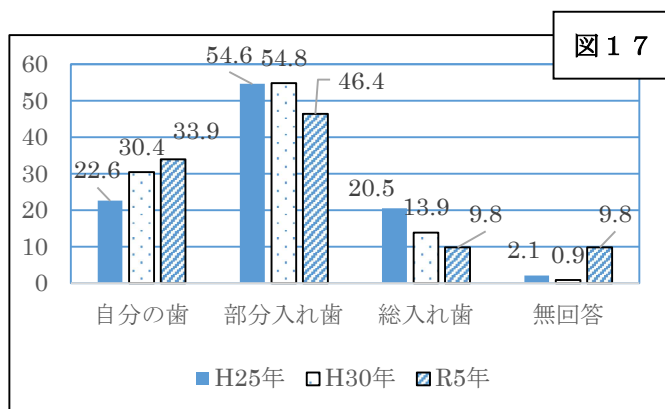
1. 歯の本数の比較 (単位: %) 【表 4 5】

	H25	H30	R5
全体	15.1	14.9	17.1
65～69 歳	22.6	24.6	22.9
70～74 歳	18.3	19.2	21
75～79 歳	15.3	13.9	17.9
80～84 歳	9.3	12.8	16
85～89 歳	7	10.2	11.6
90 歳以上	4.5	0	3



2. 歯の状況の比較 (単位: %) 【表 4 6】

	H25	H30	R5
自分の歯	22.6	30.4	33.9
部分入れ歯	54.6	54.8	46.4
総入れ歯	20.5	13.9	9.8
無回答	2.1	0.9	9.8

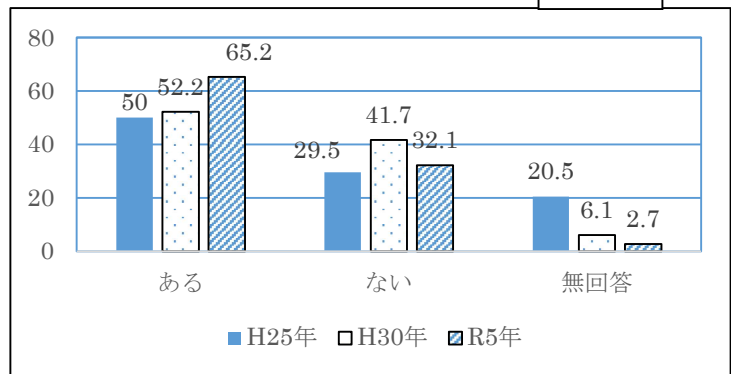


3. 歯や口の中に関する悩み事の比較（単位：％）

図 18

【表 4 7】

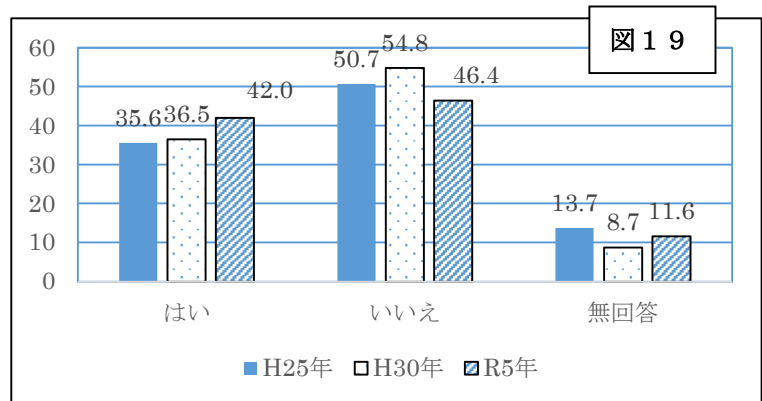
	H25	H30	R5
ある	50.0	52.2	65.2
ない	29.5	41.7	32.1
無回答	20.5	6.1	2.7



4. 歯科医院で定期的に歯石をとってもらっているか比較（単位：％）

【表 4 8】

	H25	H30	R5
はい	35.6	36.5	42.0
いいえ	50.7	54.8	46.4
無回答	13.7	8.7	11.6

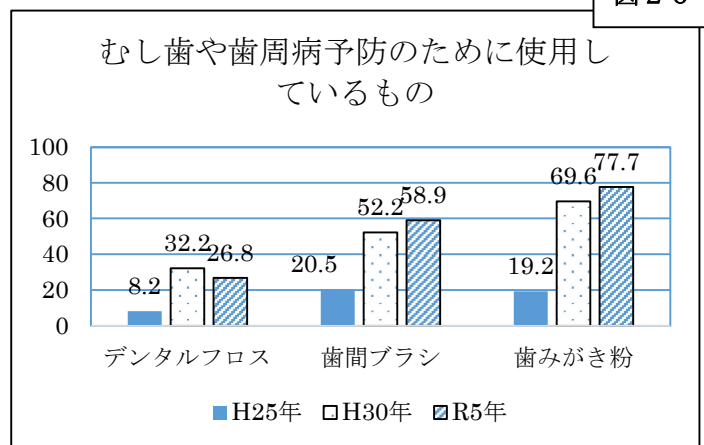


5. むし歯や歯周病予防のために使用しているものの比較（単位：％）

図 20

【表 4 9】

	H25	H30	R5
デンタルフロス	8.2	32.2	26.8
歯間ブラシ	20.5	52.2	58.9
歯みがき粉	19.2	69.6	77.7



（3）介護予防事業実施状況

1. 口腔機能向上事業 【表 5 0】

年度	開催回数	参加延べ人数	参加実人数
25	5	87	21
26	5	75	16
27	4	75	40
28	4	72	22
29	4	53	17
30	5	58	12
1	6	40	9
2	6	31	6
3	6	62	12
4	48	231	24

平成 26 年度までは、5 回コースの「健口教室」として開催していたが、平成 27 年度より、4 回コースで「老化に勝つ！」と題し、フレイル予防に重点をおいた教室を実施した。

令和 4 年度からは運動、栄養、口腔指導を一体的に実施する 1 クール 12 回の元気パワーアップ教室を開催した。

2. お茶の間サロンでのお口の健康教室【表 5 1】

年度	開催回数	参加延べ 人数
25	5	51
26	6	115
27	15	199
28	12	126
29	7	98
30	33	372
1	23	385
2	7	61
3	5	43
4	12	95

(4) 後期高齢者歯科健診

1. 受診状況 【表 5 2】

	R1			R2			R3			R4		
	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
対象者数	539	646	1,185	504	658	1162	515	589	1104	666	554	1220
受診者数	69	116	185	78	106	184	88	115	203	90	116	206
受診率	12.8%	18.0%	15.6%	15.5%	16.1%	15.8%	17.1%	19.5%	18.4%	13.5%	20.9%	16.9%

2. 判定区分 【表 5 3】

判定区分	R1		R2		R3		R4	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
異常なし	12	6.5%	26	14.1%	19	9.4%	12	5.8%
要指導	38	20.5%	47	25.5%	44	21.7%	47	22.8%
要精密検査	135	73.0%	111	60.3%	140	69.0%	147	71.4%

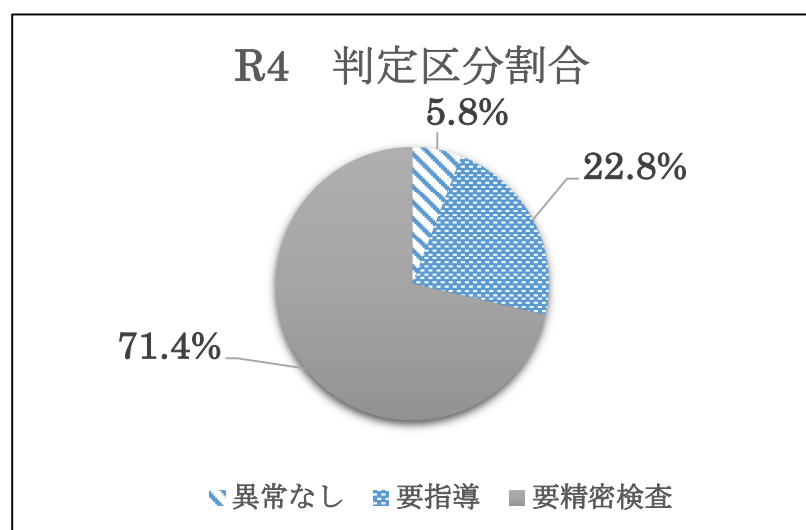
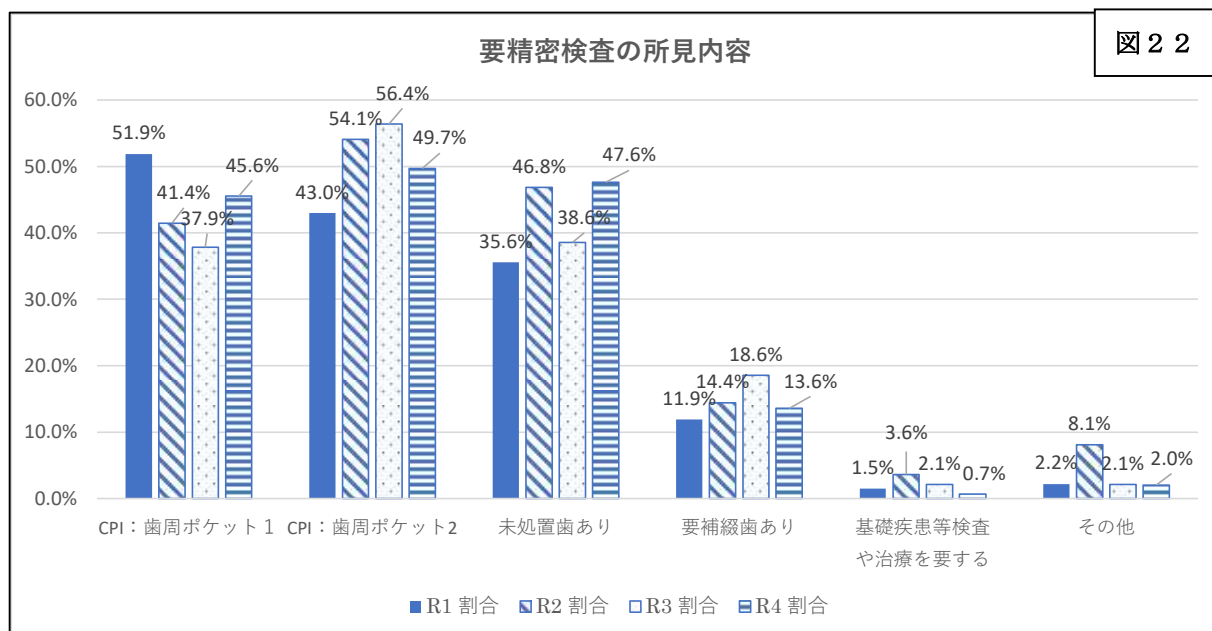


図 2 1

3. 要精密検査の内容 【表 5 4】

所見内容	R1		R2		R3		R4	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
CPI：歯周ポケット1（4～5mm）	70	51.9%	46	41.4%	53	37.9%	67	45.6%
CPI：歯周ポケット2（6mm以上）	58	43.0%	60	54.1%	79	56.4%	73	49.7%
未処置歯あり	48	35.6%	52	46.8%	54	38.6%	70	47.6%
要補綴歯あり	16	11.9%	16	14.4%	26	18.6%	20	13.6%
基礎疾患等検査や治療を要する	2	1.5%	4	3.6%	3	2.1%	1	0.7%
その他	3	2.2%	9	8.1%	3	2.1%	3	2.0%
（要精密検査者数）	135		111		140		147	



IV. 障がい者・要介護者

(1) 在宅要介護者等歯科保健推進事業

1. 訪問歯科健診受診者数 【表 5 5】

	R1	R2	R3	R4
在宅要介護者等訪問 歯科健診の利用者	2 人	3 人	3 人	2 人

2. 口腔ケア実地研修 【表 5 6】

	R1	R2	R3	R4
実施施設数	1 施設	1 施設	1 施設	0 施設
研修受講者数	13 人	1 人	20 人	0 人

(2) 障がい児(者)歯科保健推進事業

1. 障がい者施設での歯科健診受診者数 【表 5 7】

	R1	R2	R3	R4
人数	132 人	141 人	124 人	109 人
施設数	5 施設	4 施設	4 施設	4 施設

五泉市歯科保健推進会議設置要綱

（目的）

第1条 この要綱は、歯科口腔保健の推進に関する法律（平成 23 年法律第 95 号）及び新潟県歯科保健推進条例（平成 20 年新潟県条例第 32 号）に規定する基本理念を踏まえ、健康増進法（平成 14 年法律第 103 号）、母子保健法（昭和 40 年法律第 141 号）等の歯及び口腔の健康づくりに関する法律に基づき、五泉市における歯科保健の推進に関する必要な事項を協議し、歯科保健の向上を図ることを目的として、五泉市歯科保健推進会議（以下「推進会議」という。）を設置する。

（所掌事項）

第2条 推進会議は次の事項について協議する。

- （1）歯・口腔の健康づくりに関すること。
- （2）歯科保健の普及啓発に関すること。
- （3）医療・保健・福祉及び教育等の関係機関との連携等に関すること。
- （4）五泉市歯科保健計画の策定及び進行管理に関すること。
- （5）その他歯科保健の推進に関すること。

（組織）

第3条 推進会議は委員 15 人以内で組織し、歯科保健に関し識見を有する者で構成する。

（任期）

第4条 委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員が生じた場合の補委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長及び副会長）

第5条 推進会議に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。

（会議）

第6条 推進会議は会長が招集し、その会議の議長となる。ただし最初の会議は市長が招集する。

（部会）

第7条 推進会議には、小児歯科保健部会と成人・高齢者歯科保健部会を置く。

- 2 推進会議の会長及び副会長が部会長を務める。

（庶務）

第8条 推進会議の庶務は、健康福祉課において処理をする。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、推進会議の運営その他に関し必要な事項は、別に定める。

附則

この要綱は、平成 21 年 9 月 1 日から施行する。

この要綱は、平成 22 年 1 月 4 日から施行する。

この要綱は、平成 24 年 4 月 2 日から施行する。

この要綱は、令和 2 年 3 月 1 日から施行する。

五泉市歯科保健推進会議委員名簿

	所属	氏名	役職名等	備考
1	歯科医師会代表	笹川 真司	笹川歯科医院	成人・高齢者歯科保健部会
2	歯科医師会代表	武田 明義	武田歯科クリニック	小児歯科保健部会
3	小学校長代表	高松 由美子	巢本小学校長	小児歯科保健部会
4	新潟地域振興局 健康福祉部	栃倉 恵理	主査	成人・高齢者歯科保健部会
5	養護教員研究協議 会代表	小林 真知子	養護教諭	小児歯科保健部会
6	歯科衛生士	酒井 綾子	在宅歯科衛生士	小児歯科保健部会
7	歯科衛生士	豊島 恵美	在宅歯科衛生士	成人・高齢者歯科保健部会
8	保護者代表	高橋 麻衣子	保育園保護者代表	小児歯科保健部会
9	保育園代表	大川原 裕美	かわひがし保育園長	小児歯科保健部会
10	幼稚園代表	石田 雄介	第一幼稚園長	小児歯科保健部会
11	五泉市公衆衛生協 会	原田 知廣	環境部員	成人・高齢者歯科保健部会
12	五泉市老人クラブ 連合会	小熊 弘一郎	老人クラブ会長	成人・高齢者歯科保健部会
13	五泉市食生活改善 推進委員協議会	笠原 とし子	理事	成人・高齢者歯科保健部会
14	五泉地域包括支援 センター	佐藤 雅一	主任介護支援専門員	成人・高齢者歯科保健部会
15	学校教育課	稲餅 泰行	課長補佐	小児歯科保健部会

五泉市歯科保健計画策定経過

開催日	内容
令和 5 年 10 月 12 日	第 1 回 歯科保健推進会議 ・ 歯科保健の現状とこれまでの取組、 今後の課題について ・ 計画素案作成のための指標・目標値について
令和 6 年 1 月 18 日	第 2 回 歯科保健推進会議 ・ 第 1 回会議にて出た意見をもとに修正した計画素案の検討
令和 6 年 2 月 13 日 ～ 令和 6 年 3 月 13 日	パブリックコメント
令和 6 年 2 月 16 日	第 1 回 健康づくり推進協議会 ・ 歯科保健推進会議報告

五泉市歯科保健計画

令和 6 年 3 月

五泉市役所（健康福祉課 こども家庭課 高齢福祉課）

〒959 - 1692 新潟県五泉市太田 1094 - 1

電話 0250 - 43 - 3911

FAX 0250 - 43 - 0417

E-mail kenkou@city.gosen.lg.jp